

システム名	MSP
ソフトウェア 略称	LIBCOMPV22
適用 バージョン・レベル	V22L20
製品コード	A9316892-2220-1

# ソフトウェア説明書

OSIV/MSP

SIMPLIA/VF-LIBCOMP V22



本ソフトウェア説明書は、

S I M P L I A / V F - L I B C O M P V 2 2

について説明したものです。ソフトウェアの使用に先立ち、本書をご一読ください。

本ソフトウェアのインストールを実施するにあたり、その2週間前までに当社技術員から本ソフトウェアの最新保守情報をお取り寄せのうえ、インストールを実施いただくようお願いいたします。また、ご不明な点は当社の技術員にお問い合わせください。

なお、本書で用いる記号の意味は次のとおりです。

◆参照 → 本書の中の参照箇所を示しています。

◆【】 “適用マニュアル”に記載されているマニュアルの参照箇所を示しています。

例：◆【1】 1.2 …… “適用マニュアル” 第1項のマニュアルの1.2 を参照。

2019年3月

富士通株式会社

## 目 次

1. 機 能 概 要 .....	1
2. 構成プログラム .....	2
3. 適用マニュアル .....	2
4. 新 機 能 .....	3
5. 移行上の注意 .....	4
6. 注 意 事 項 .....	5
7. ソフトウェア組合せ条件 .....	6
8. 入出力装置 .....	6
9. 提供媒体形式と内容 .....	7
10. D A S D所要量 .....	8
11. インストレーションの手引 .....	9
12. 稼 働 確 認 .....	1 8
13. マニュアル修正事項 .....	2 7
14. プログラム修正事項 .....	4 9

## 1. 機能概要

このソフトウェアは以下の機能を備えている。

詳細は、本書の“3. 適用マニュアル”に記載のマニュアルを参照する。

OSIV/MSP SIMPLIA/VF-LIBCOMP (SIMple development & maintenance support Program Libraries for Application system/Verification Facility of LIBrary COMPare)

(以降VF-LIBCOMPと呼ぶ)は、YPS/COBOLおよびCOBOL85 プログラム(一部機能ではその他のソースプログラムの比較も可能)の変更状況の確認を支援するツールである。

VF-LIBCOMPが出力するドキュメントから、修正前と修正後のソースプログラムの変更箇所とその修正内容、および修正ステップ数を知ることができ、ソースプログラムの修正状況を機械的に把握することができる。

VF-LIBCOMPは以下の機能を持つ。

### 1. 1 新/旧ソース比較機能

変更前の旧ソースプログラムと、変更後の新ソースプログラムを比較する機能である。対象ライブラリは区分編成データセットと、GEMライブラリである。変更区分としては追加と削除を判定できる。

新/旧ソース比較機能では、COBOL85、YPS/COBOL だけでなくその他の言語もサポートしている。

新/旧ソース比較機能では、以下の機能を使用することができる。

#### 1. 1. 1 処理内容比較機能

命令の開始位置や、語と語の間の空白を比較対象から外すことにより、処理内容が同一であれば、命令の位置が新/旧ソースプログラムで異なっても、同じと判定する機能である。

#### 1. 1. 2 コメント行比較機能

コメント行・行内注記・改ページ指示行を比較対象とするか否かを選択できる。さらに、比較対象としない場合にドキュメントに出力するか否かを選択できる。

#### 1. 1. 3 データ部比較機能

ソースプログラムを比較する場合に、データ部を含めるか否かを選択できる。

#### 1. 1. 4 一連番号比較機能

ソースプログラムを比較する場合に、一連番号を含めるか否かを選択できる。

### 1. 2 変更履歴情報比較機能

ソースプログラムをGEMライブラリで管理している場合、この機能を使用することができる。

この比較機能では、GEMの変更履歴情報を参照し、任意のモジュールの任意のレベル間について比較を行い追加/更新/削除を判定する。

変更履歴情報比較機能では、COBOL85、YPS/COBOL の比較が可能である。

### 1. 3 帳票出力機能

ドキュメント出力時に、比較したソースプログラム全てを出力するか、変更箇所のみを出力するかを選択できる。

### 1. 4 帳票出力形式選択機能

ドキュメント出力時に、比較した結果をプリンタに出力するか、テキスト形式およびCSV形式のファイルに出力するかを選択できる。

### 1. 5 ファイル出力機能

変更のあったレコードの情報をファイルに出力することができる。以下にその機能を示す。

#### 1. 5. 1 修正文ファイル出力機能

比較した結果を、追加／更新／削除されたレコードの文番号を格納した文番号レコードおよびそれぞれのステップ数を格納したステップ情報レコードに出力する。

#### 1. 5. 2 UPDATE制御文ファイル出力機能

比較した結果を、GEM3のUPDATE制御文ファイルとしてファイルに出力することができる。ただし、この機能は変更履歴情報比較機能でのみ使用することができる。

## 2. 構成プログラム

このソフトウェアは、表2.1 に示すプログラムから構成されている。

表2.1 構成プログラム

項番	分 類	プログラム名	バージョン・レベル	備 考
1	新／旧ソース比較機能 変更履歴情報比較機能	J S M V S 0 0 0	V 2 2 L 2 0	

## 3. 適用マニュアル

このソフトウェアに適用されるマニュアルは表3.1 に示すとおりである。

表3.1 適用マニュアル

項番	マ ニ ュ ア ル 名 称	マニュアルコード	備 考
1	OSIV SIMPLIA/VF-LIBCOMP解説書	J1M0-9160-01	

#### 4. 新機能

このソフトウェアでは、以前のバージョン・レベルに対して次のような機能追加および改良が行われている。

##### 4. 1 V 2 0 L 1 1 で行われた機能追加・改良

###### 4. 1. 1 COBOL85、YPS/COBOL 以外の言語対応（新／旧ソース比較機能のみ）

実行時オプションのCHECK ドキュメントキーワードに、ANYパラメタを指定することにより、様々な言語の比較を可能とした。また、AREAパラメタによりレコード内の比較範囲を選択することを可能とした。

###### 4. 1. 2 セクション全出力・セクション修正分出力

実行時オプションのCHECK ドキュメントキーワードに、SECALL またはSECPART を指定することにより、相違箇所を含むセクションのみを出力したり（セクション全出力）相違箇所を含むセクションのセクション名と、相違箇所のみを出力する（セクション修正分出力）を可能とした。

##### 4. 2 V 2 1 L 1 0 で行われた機能追加・改良

###### 4. 2. 1 YPS/COBOL V11 対応

YPS/COBOL V11 で追加された新規追加記号の表示ができる。更に、行内注記マーク（☆）が文字定数に含まれる場合、文字定数として判断することを可能とした。

###### 4. 2. 2 YPS/COBOL 表示文字数の制限解除

YPS/COBOL のプログラム名、ENTRY 名、外部呼出し、内部呼出し、内部プログラム名は8文字までしか出力できなかったが、20文字まで出力することを可能とした。

##### 4. 3 V 2 2 L 1 0 で行われた機能追加・改良

###### 4. 3. 1 マルチクラスタ環境における運用

OSIV/MSPスケラブルSCMPシステムにおけるマルチクラスタの運用を可能とした。

###### 4. 3. 2 英語モードによるYPS 記号の出力

YPS/COBOL の英語モードによるYPS 記号の出力を可能にした。

###### 4. 3. 3 データ部比較機能の追加

実行時オプションのCHECK ドキュメントキーワードに、NODATA を指定することにより、データ部を比較および出力対象から外すことを可能とした。

##### 4. 4 V 2 2 L 2 0 で行われた機能追加・改良

###### 4. 4. 1 帳票出力形式選択機能の追加

既存のドキュメント出力をテキスト形式またはCSV形式でファイル出力を行い、PFDのBROWSEなどでも確認を可能とした。

###### 4. 4. 2 一連番号比較機能の追加

新／旧ソース比較機能において、新／旧ソースの一連番号を含めた比較を可能とした。

###### 4. 4. 3 新／旧ソースの比較ステップ数の制限緩和

新／旧ソース比較機能において、新／旧ソースの1セクションのステップ数および連続する不一致セクションの総ステップ数制限を1000ステップから3000ステップまでに緩和した。

## 5. 移行上の注意

以前のバージョン・レベルからこのソフトウェアに移るときには、以下の事項に留意しなければならない。

### 5. 1 V20L10からの移行

#### 5. 1. 1 新／旧ソース比較機能の実行時オプションの変更

- － 新／旧ソース比較機能の実行時オプションの言語タイプ指定が変更された。

#### 5. 1. 2 変更プログラム一覧の帳票フォーマット変更

- － 変更プログラム一覧に備考欄が追加された。

#### 5. 1. 3 COBOL85 V12 対応

- － 基底変数節に対応した。（V20L10では基底変数節の1つ前に書かれている節に含まれて比較していた）
- － “ID DIVISION ”の表記に対応した。（V20L10ではCOBOL ソースではないと見なされた）

#### 5. 1. 4 YPS/COBOL の注釈対応

- － YPS/COBOL の注釈（“★注釈開始”、“★注釈終了”）に対応した。“★注釈開始”から“★注釈終了”で囲まれた範囲も注釈と見なされるようになった。

#### 5. 1. 5 変更履歴情報比較機能でのCOBOL 修正分出力時のセパレータ出力

- － 変更履歴情報比較機能の修正分出力でCOBOL ソースを比較したときにセパレータが出力されるようになった。

#### 5. 1. 6 重大度コードの変更

- － 新／旧ソース比較機能の修正分出力で比較を行ったとき、修正箇所が1つも無かったときの重大度コードが00に変更された。

#### 5. 1. 7 修正文ファイル、UPDATE制御文ファイルの割当てについて

- － 修正文ファイル、UPDATE制御文ファイルの割り当て時にデータセット編成がPOでない場合、処理を中断する。

### 5. 2 V20L11からの移行

#### 5. 2. 1 新／旧ソース比較機能の実行時オプションの変更

- － 新／旧ソース比較機能の実行時オプションの言語タイプ指定が変更された。

#### 5. 2. 2 YPS/COBOL V11 対応

- － 宣言部分節に対応した。（V20L11以前では宣言部分節の1つ前に書かれている節に含まれて比較していた）
- － 行内注記の文字定数判断を可能とした。（V20L11以前では文字定数に囲まれた行内注記はコメントと見なされた）



## 6. 注意事項

このソフトウェアを使用する場合、表6.1 注意事項に示す点に注意する。

表6.1 注意事項

項 番	注 意 事 項	備 考
1	VF-LIBCOMPの実行JCL 中ではSYSOUT DD 文はDUMMY を指定する。	
2	UPDATE制御文ファイルを使用してライブラリをGEM コマンドで更新する場合は、必ずライブラリのバックアップを取っておく。	
3	認定ライブラリ化は対応していない。	COBOL ライブラリ等が認定ライブラリ化している場合、JOB LIB 文等で指定する必要はない。
4	本ソフトウェアはOS/VS/MSPスケーラブルSCMPシステム環境に順応するため、修正文ファイル、UPDATE制御文ファイルの排他的有効範囲を従来のジョブ間からクラスター間に拡張しており、排他制御方法を変更している。 したがって、V21L10 以前のソフトウェアと本ソフトウェアの同一システム上での修正文ファイル、UPDATE制御文ファイルの共用はできない。	
5	IBV/Lと本V/Lを共存させる場合は、別ライブラリにインストールすること。（IBV/Lと同じロードモジュールライブラリに格納しない）	

## 7. ソフトウェア組合せ条件

このソフトウェアを使用するときに必要なソフトウェアは以下のとおりである。

表7.1 ソフトウェア組合せ条件

ソフトウェア名	適用V/L	必 要 条 件		備 考
		必 須	オプション	
A F II	10/10以降	○		
C O B O L 8 5	12/10以降	○		
ソートマージ	10/30以降	○		
A D J U S T	10/50以降	○		V10L50の場合は、PTF レベルL89061が必要
J E F 基本辞書	01/92以降	○		
G E M	10/30以降		○	ソースライブラリがGEM の場合に必要
Y P S / B A S E	10/20以降		○	ソースプログラムがYPS/COBOL で記述されている場合に必要

## 8. 入出力装置

本ソフトウェアの各ドキュメントの出力が可能なプリンタ装置について説明する。

本ソフトウェアの帳票は、N L Pで出力することができる。ただし、水平スキップ機能が必要である。

また、フォームオーバーレイが出力でき、1行当りのデータ長（バイト）が401バイト以上の帳票が出力できるプリンタであること。

## 9. 提供媒体形式と内容

このソフトウェアで提供される媒体の内容は、表9.1 から表9.2 に示すとおりである。

表9.1 提供媒体形式

ラベル形式	ボリューム通し番号	データセット数	巻 数
S L	L I B C M P	7	1

表9.2 提供媒体内容

格納順番	データセット名	内 容
1	LIBCOMP. JCL	インストレーションツール（インストール用ジョブ制御文、実行用ジョブ制御文、フォームオーバーレイソース）のJSECOPY のアンロード版
2	LIBCOMP. LOAD	新／旧ソース比較機能の1000ステップ版を含んだ全ロードモジュール（以降1000ステップ制限版と呼ぶ）のJSECOPY のアンロード版
3	LIBCOMP. LOAD2	新／旧ソース比較機能の3000ステップ版を含んだ全ロードモジュール（以降3000ステップ制限版と呼ぶ）のJSECOPY のアンロード版
4	LIBCOMP. IMAGELIB	イメージライブラリのJSECOPY のアンロード版
5	TEST. OLDYPS	稼働確認用旧YPSソースライブラリのJSECOPY のアンロード版
6	TEST. NEWYPS	稼働確認用新YPSソースライブラリのJSECOPY のアンロード版
7	TEST. GEMCOB	稼働確認用COBOLソースライブラリのGEM BACKUPのアンロード版

# 10. DASD所要量

このソフトウェアのインストールを完了したときのDASD所要量の見積りは表10.1に示すとおりである。

表10.1 DASD所要量

単位は各々次のとおり  
レコード長、ブロック長：バイト  
ディレクトリ：ブロック  
DASD所要量：トラック

項 番	データセット名		データセット形式 レコード形式 レコード長 ブロック長	算 出 式			備 考
	標 準 名	変 更 可 否		ディレ クトリ	D A S D所要量		
					F6421	F6425	
1	LIBCOMP. JCL	可	区分編成 F B 8 0 3 1 2 0	2	3	2	
2	LIBCOMP. LOAD	可	区分編成 U 0 6 1 4 4	3 3	1 1 0	7 0	1000ステップ制限版
3	LIBCOMP. LOAD2	可	区分編成 U 0 6 1 4 4	3 3	1 1 0	7 0	3000ステップ制限版
4	LIBCOMP. IMAGELIB	可	区分編成 U 0 6 1 4 4	1	3 6	2 4	
5	TEST. OLDYPS	可	区分編成 V B 2 2 7 2 3 1 0	1	2	1	
6	TEST. NEWYPS	可	区分編成 V B 2 2 7 2 3 1 0	1	2	1	
7	TEST. GEMCOB	可	G E M	0	8	5	VF-LIBCOMPのインストール前に割り当てておくこと
8	SYUSEI. MAST	可	区分編成 V B 2 5 2 5 4	1	1	1	新／旧ソース比較機能確認時にJSMVSOT1 DD 文で割り当てられる修正文ファイル
9	UPDATE. MAST	可	区分編成 V B 2 5 5 2 5 5 4	1	1	1	変更履歴情報比較機能確認時にJSMVSOT1 DD 文で割り当てられるUPDATE制御文ファイル

## 11. インストレーションの手引

このソフトウェアをインストールするための手順を説明する。

この章で使用しているDASD使用量は、すべてF 6 4 2 5換算である。

インストール手順を図11.1に示す。

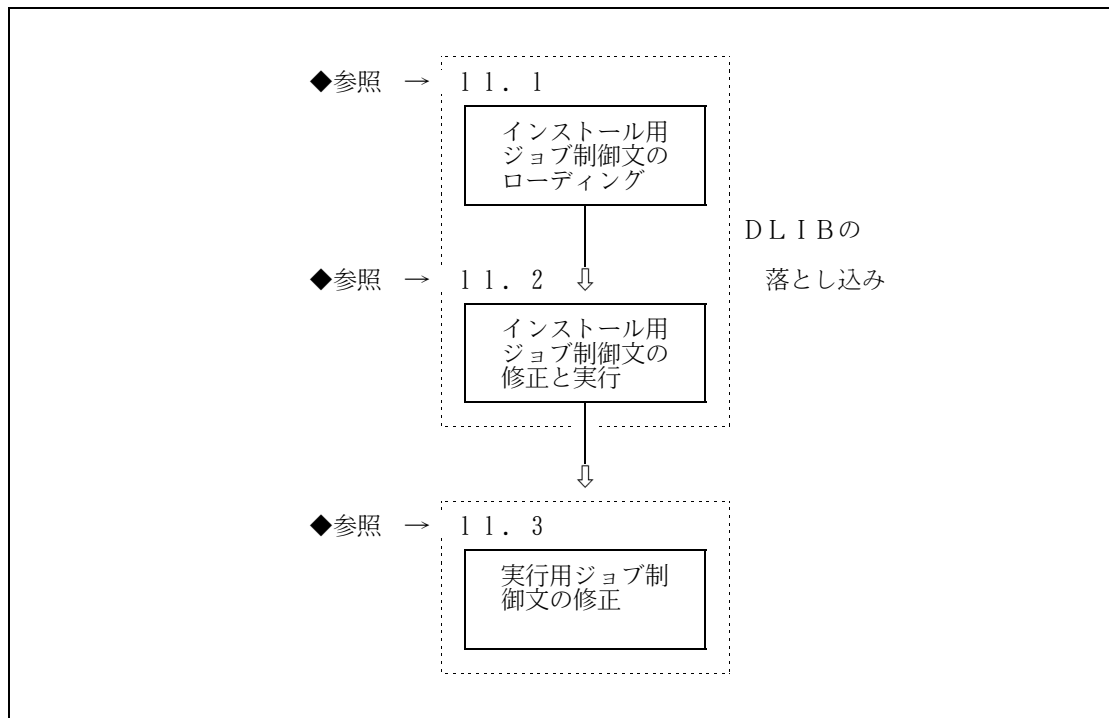


図11.1 インストール手順

### 11.1 インストール用ジョブ制御文のローディング

インストール用ジョブ制御文は、提供JCLファイルの1メンバとして提供している。

#### 11.1.1 磁気テープ媒体からのローディング

磁気テープ媒体の提供JCLをローディングするジョブ制御文の例を図11.2に示す。下線部は修正箇所である。なお、下線が引かれていない部分でも、システムに合わせて装置名などを変更する。

```
//USER01X JOB XXXXX, CLASS=H, MSGCLASS=R
//JOB CAT DD DSN=N8UCAT, DISP=SHR
//INST01 EXEC PGM=JSECPY, REGION=512K
//IN01 DD DSN=L1BCOMP, JCL, UNIT=MT, VOL=SER=L1BCMP,
// LABEL=(1, SL), DISP=(OLD, PASS)
//OUT01 DD DSN=USER01.L1BCOMP, JCL, DISP=(NEW, CATLG),
// UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (2, 1, 2)), VOL=SER=DASD01
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//SYSIN DD *
COPY INDD=IN01, OUTDD=OUT01
/*
//
```

①

図11.2 磁気テープ媒体からローディングするジョブ制御文（例）

- ① VF-L1BCOMPのインストールツールの（インストール用ジョブ制御文、実行用ジョブ制御文、フォームオーバーレイソース）のデータセット名

### 11.1.2 DVD媒体からのローディング

DVD媒体の提供JCLをローディングするジョブ制御文の例を図11.3に示す。下線部は修正箇所である。なお、下線が引かれていない部分でも、システムに合わせて装置名などを変更する。

<pre>//USER01X JOB XXXXX, CLASS=H, MSGCLASS=<u>R</u> //JOB CAT DD DSN=N8UCAT, DTSP=SHR //INST01 EXEC PGM=JSECOPY, REGION=512K //IN01 DD DSN=LIBCOMP. JCL, UNIT=SYSDA, VOL=SER=DVDVOL, // DISP=OLD //OUT01 DD DSN=USER01.LIBCOMP. JCL, DISP=(NEW, CATLG), // UNIT=SYSDA, SPACE=(<u>TRK, (2, 1, 2)</u>), VOL=SER=<u>DASD01</u> //SYSPRINT DD SYSOUT=* //SYSIN DD * COPY INDD=IN01, OUTDD=OUT01 /* //</pre>	①
--	---

図11.3 DVD媒体からローディングするジョブ制御文（例）

- ① VF-LIBCOMPのインストレーションツール（インストール用ジョブ制御文、実行用ジョブ制御文、フォームオーバーレイソース）のデータセット名

[注意事項]

DVD媒体の内容はDASDに転送されていることが前提である。DVD媒体からDASDへの転送については、DVD適用手引書を参照されたい。

## 11.2 インストール用ジョブ制御文の修正と実行

インストールするシステムに応じ、インストール用ジョブ制御文を修正する。

### 11.2.1 磁気テープ媒体からのインストール

磁気テープ媒体からインストールする場合のインストール用ジョブ制御文を図11.4に示す。提供JCLファイル中のメンバ名は“INSTALL”である。下線部は修正箇所を示す。なお、下線が引かれていない部分でも、システムに合わせて装置名などを変更する。

なお、ロードモジュールのインストール先は、認定ライブラリであってはならない。 ◆参照 → 6

<pre>//USER01X JOB XXXXX, CLASS=H, MSGCLASS=R //JOB CAT DD DSN=N8UCAT, DISP=SHR //**** LOAD MODULE RESTORE **** //** 新/旧ソース比較機能の1000ステップ制限版 //**** //REST01 EXEC PGM=JSECCOPY, REGION=512K //IN01 DD DSN=LIBCOMP. LOAD, LABEL=(02, SL), // UNIT=MT, DISP=(OLD, PASS), VOL=SER=LIBCOMP //OUT01 DD DSN=USER01. LIBCOMP. LOAD, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (70, 1, 33), RLSE) //SYSPRINT DD SYSOUT=* //SYSIN DD * COPY INDD=IN01, OUTDD=OUT01 /* //**** LOAD MODULE RESTORE **** //** 新/旧ソース比較機能の3000ステップ制限版 //**** //REST02 EXEC PGM=JSECCOPY, REGION=512K //IN01 DD DSN=LIBCOMP. LOAD2, LABEL=(03, SL), // UNIT=MT, DISP=(OLD, PASS), VOL=SER=LIBCOMP //OUT01 DD DSN=USER01. LIBCOMP. LOAD2, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (70, 1, 33), RLSE) //SYSPRINT DD SYSOUT=* //SYSIN DD * COPY INDD=IN01, OUTDD=OUT01 /* //* //REST03 EXEC PGM=JSECCOPY, REGION=512K //IN01 DD DSN=LIBCOMP. IMAGELIB, UNIT=MT, DISP=(OLD, PASS), // VOL=SER=LIBCOMP, LABEL=(04, SL) //IN02 DD DSN=TEST. OLDYPS, UNIT=MT, DISP=(OLD, PASS), // VOL=SER=LIBCOMP, LABEL=(05, SL) //IN03 DD DSN=TEST. NEWYPS, UNIT=MT, DISP=(OLD, PASS), // VOL=SER=LIBCOMP, LABEL=(06, SL) //OUT01 DD DSN=USER01. LIBCOMP. IMAGELIB, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (24, 1, 1), RLSE) //OUT02 DD DSN=USER01. TEST. OLDYPS, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (1, 1, 1), RLSE) //OUT03 DD DSN=USER01. TEST. NEWYPS, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (1, 1, 1), RLSE) //SYSPRINT DD SYSOUT=* //SYSIN DD * COPY INDD=IN01, OUTDD=OUT01 COPY INDD=IN02, OUTDD=OUT02 COPY INDD=IN03, OUTDD=OUT03 /* //* //REST04 EXEC PGM=JQHGM3, REGION=256K //SYSPRINT DD SYSOUT=* //GEMLIB DD DSN=USER01. TEST. GEMCOB, DISP=SHR //IN01 DD DSN=TEST. GEMCOB, UNIT=MT, DISP=(OLD, PASS), // VOL=SER=LIBCOMP, LABEL=(07, SL) //SYSIN DD * - G A - RESTORE A, IN=IN01 - END /* //</pre>		
	①(注1)	
	②	
	①(注1)	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
	⑦(注2)	

図11.4 磁気テープ媒体からのインストール用ジョブ制御文

- ① インストールするロードモジュールのジョブステップを選択する。  
どちらかのロードモジュールを選択してインストールする場合、インストールしないロードモジュールのジョブステップを削除またはコメント化する。
- ② VF-L I B C O M P のロードモジュールのデータセット名（1000ステップ制限版）。
- ③ VF-L I B C O M P のロードモジュールのデータセット名（3000ステップ制限版）。
- ④ VF-L I B C O M P のイメージライブラリのデータセット名。
- ⑤ VF-L I B C O M P の稼働確認用旧YPSソースライブラリのデータセット名。
- ⑥ VF-L I B C O M P の稼働確認用新YPSソースライブラリのデータセット名。
- ⑦ VF-L I B C O M P の稼働確認用COBOL GEMソースライブラリのデータセット名。

<補足説明>

イメージライブラリへのインストールメンバ名は以下のとおりである。

KOL1VFS1、KOL1VFS2、KOL1VFS3、およびKOL1VFS4

注1) インストールするロードモジュールの判断基準

- ・どちらかのロードモジュールを選択してインストールする場合

- － 比較対象ソースの規模で判断する場合

1セクションが1000ステップ以内 . . . . . 1000ステップ制限版

1セクションが1000ステップを超える . . . . . 3000ステップ制限版

- － 指定可能な実行リージョンで判断する場合

2048KB以内 . . . . . 1000ステップ制限版

3072KB以上 . . . . . 3000ステップ制限版

なお、実行リージョンに3072KB以上指定可能な環境であれば、3000ステップ制限版の使用を推奨する。

- ・両方のロードモジュールをインストールする場合

1000ステップ制限版と3000ステップ制限版の両方のロードモジュールをインストールする場合は、140 TRK以上のDASD容量が必要である。

注2) あらかじめGEM 形式でデータセットを割り当てておく必要がある。 ◆参照 → 10

## 11.2.2 DVD媒体からのインストール

DVD媒体からインストールする場合のインストール用ジョブ制御文を図11.5に示す。提供JCLファイル中のメンバ名は“INSTALL2”である。下線部は修正箇所を示す。なお、下線が引かれていない部分でも、システムに合わせて装置名などを変更する。

なお、ロードモジュールのインストール先は、認定ライブラリであってはならない。 ◆参照 → 6



<pre>//USER01X JOB XXXXX, CLASS=H, MSGCLASS=R //JOB CAT DD DSN=N8UCAT, DISP=SHR //**** LOAD MODULE RESTORE **** //** 新/旧ソース比較機能の1000ステップ制限版 //**** //REST01 EXEC PGM=JSECCOPY, REGION=512K //IN01 DD DSN=LIBCOMP. LOAD, UNIT=SYSDA, DISP=OLD, // VOL=SER=DVDVOL //OUT01 DD DSN=USER01. LIBCOMP. LOAD, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (70, 1, 33), RLSE) //SYSPRINT DD SYSOUT=* //SYSIN DD * COPY INDD=IN01, OUTDD=OUT01 /* //**** LOAD MODULE RESTORE **** //** 新/旧ソース比較機能の3000ステップ制限版 //**** //REST02 EXEC PGM=JSECCOPY, REGION=512K //IN01 DD DSN=LIBCOMP. LOAD2, UNIT=SYSDA, DISP=OLD, // VOL=SER=DVDVOL //OUT01 DD DSN=USER01. LIBCOMP. LOAD2, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (70, 1, 33), RLSE) //SYSPRINT DD SYSOUT=* //SYSIN DD * COPY INDD=IN01, OUTDD=OUT01 /* //* //REST03 EXEC PGM=JSECCOPY, REGION=512K //IN01 DD DSN=LIBCOMP. IMAGELIB, UNIT=SYSDA, DISP=OLD, // VOL=SER=DVDVOL //IN02 DD DSN=TEST. OLDYPS, UNIT=SYSDA, DISP=OLD, // VOL=SER=DVDVOL //IN03 DD DSN=TEST. NEWYPS, UNIT=SYSDA, DISP=OLD, // VOL=SER=DVDVOL //OUT01 DD DSN=USER01. LIBCOMP. IMAGELIB, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (24, 1, 1), RLSE) //OUT02 DD DSN=USER01. TEST. OLDYPS, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (1, 1, 1), RLSE) //OUT03 DD DSN=USER01. TEST. NEWYPS, UNIT=SYSDA, DISP=(NEW, CATLG), // VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (1, 1, 1), RLSE) //SYSPRINT DD SYSOUT=* //SYSIN DD * COPY INDD=IN01, OUTDD=OUT01 COPY INDD=IN02, OUTDD=OUT02 COPY INDD=IN03, OUTDD=OUT03 /* //* //REST04 EXEC PGM=JQHGM3, REGION=256K //SYSPRINT DD SYSOUT=* //GEMLIB DD DSN=USER01. TEST. GEMCOB, DISP=SHR //IN01 DD DSN=TEST. GEMCOB, UNIT=SYSDA, DISP=OLD, // VOL=SER=DVDVOL //SYSIN DD * - G A - RESTORE A, IN=IN01 - END /* //</pre>		
	①(注1)	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
	⑦(注2)	

図11.5 DVD媒体からのインストール用ジョブ制御文

- ① インストールするロードモジュールのジョブステップを選択する。  
どちらかのロードモジュールを選択してインストールする場合、インストールしないロードモジュールのジョブステップを削除またはコメント化する。
- ② VF-LIBCOMPのロードモジュールのデータセット名（1000ステップ制限版）。
- ③ VF-LIBCOMPのロードモジュールのデータセット名（3000ステップ制限版）。
- ④ VF-LIBCOMPのイメージライブラリのデータセット名。
- ⑤ VF-LIBCOMPの稼働確認用旧YPSソースライブラリのデータセット名。
- ⑥ VF-LIBCOMPの稼働確認用新YPSソースライブラリのデータセット名。
- ⑦ VF-LIBCOMPの稼働確認用COBOL GEMソースライブラリのデータセット名。

<補足説明>

イメージライブラリへのインストールメンバ名は以下のとおりである。

KOL1VFS1、KOL1VFS2、KOL1VFS3、およびKOL1VFS4

注1) インストールするロードモジュールの判断基準

- ・どちらかのロードモジュールを選択してインストールする場合

- ー 比較対象ソースの規模で判断する場合

1セクションが1000ステップ以内 . . . . . 1000ステップ制限版

1セクションが1000ステップを超える . . . . . 3000ステップ制限版

- ー 指定可能な実行リージョンで判断する場合

2048KB以内 . . . . . 1000ステップ制限版

3072KB以上 . . . . . 3000ステップ制限版

なお、実行リージョンに3072KB以上指定可能な環境であれば、3000ステップ制限版の使用を推奨する。

- ・両方のロードモジュールをインストールする場合

1000ステップ制限版と3000ステップ制限版の両方のロードモジュールをインストールする場合は、140 TRK以上のDASD容量が必要である。

注2) あらかじめGEM 形式でデータセットを割り当てておく必要がある。 ◆参照 → 10

### 11.3 実行用ジョブ制御文の修正

このソフトウェアを稼働させるためのジョブ制御文を修正する。

修正を行う提供JCLファイル中のメンバ名は、以下のとおりである。

- CHECK ———— 新/旧ソース比較機能
- HIST ———— 変更履歴情報比較機能

#### 11.3.1 新/旧ソース比較機能用ジョブ制御文の修正

新/旧ソース比較機能用ジョブ制御文を図11.6に示す。

提供JCLファイル中のメンバ名は“CHECK”である。下線部は修正箇所を示す。なお、下線が引かれていない部分でも、システムに合わせて装置名などを変更する。

```
//USER01X JOB XXXXX, CLASS=A, MSGCLASS=R
//JOB LIB DD DSN=USER01. LIBCOMP. LOAD, DISP=SHR ①
// DD DSN=SYS1. COBLIB, DISP=SHR ②(注)
// DD DSN=SYS1. ADJUST. LINKLIB, DISP=SHR ③
//JOB CAT DD DSN=N8UCAT, DISP=SHR ④
//IMAGELIB DD DSN=USER01. LIBCOMP. IMAGELIB, DISP=SHR, UNIT=SYSDA, ④
// VOL=SER=DASD01
// DD DSN=SYS1. YPS. IMAGELIB, DISP=SHR
//CHECK EXEC PGM=JSMVS000, REGION=2048K, SPARM=' LANG=E', ⑤
// PARM=' CHECK (ALL, YPSV10, PFD, COM2, BLANK, LINE=85)', ⑥
//SOCLIB DD DSN=USER01. TEST. OLDYPS, DISP=SHR ⑦
//SOCLIB1 DD DSN=USER01. TEST. NEWYPS, DISP=SHR ⑧
//JSMVSLST DD SYSOUT=*, FCB=STD3, FLASH=VFS3, CHARS=YPSA ⑨
//JSMVSOUT DD SYSOUT=*, FCB=STD3, FLASH=VFS4
//SYS PRINT DD SYSOUT=*
//SYS OUT DD DUMMY
//JSMVSOT1 DD DSN=USER01. SYUSE1. MAST, DISP=(NEW, CATLG), UNIT=SYSDA, ⑩
// VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (1, 1)),
// DCB=(DSORG=PO, RECFM=VB, LRECL=25, BLKSIZE=254)
//SORTWK01 DD DSN= &&WK01, DISP=NEW, SPACE=(TRK, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//SORTWK02 DD DSN= &&WK02, DISP=NEW, SPACE=(TRK, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//SORTWK03 DD DSN= &&WK03, DISP=NEW, SPACE=(TRK, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//SORTWK04 DD DSN= &&WK04, DISP=NEW, SPACE=(TRK, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//SYS IN DD *
// @COMPARE
// -MOPT MEMBER=' PROG0001'
//
/*
//
```

図11.6 新/旧ソース比較機能用ジョブ制御文

- ① VF-LIBCOMPのロードモジュールライブラリを指定する。
- ② COBOL 85ライブラリ、ADJUSTなどの必要プログラムのライブラリを指定する。
- ③ ユーザカタログを指定する。
- ④ VF-LIBCOMP、YPS/COBOLのイメージライブラリを指定する。
- ⑤ インストール時に選択したロードモジュールの実行に必要なリージョンサイズを指定する。
  - 1000ステップ制限版 . . . . . 2048K
  - 3000ステップ制限版 . . . . . 3072K
- ⑥ VF-LIBCOMPのオプションを指定する。
- ⑦ 比較を行う旧YPSソースライブラリを指定する。
- ⑧ 比較を行う新YPSソースライブラリを指定する。
- ⑨ 用紙制御イメージ識別子は、8LPIのものを指定する。

実行時オプションでCHECKドキュメントキーワードにYPSV10またはYPSV11オプションを指定したときは、CHARSパラメタに実行環境でのYPS追加文字セットを指定する。

⑩ 修正文ファイルを指定する。

注) A D J U S Tロードモジュールライブラリには、動的結合用のトランジェントライブラリを指定すること。

### 11. 3. 2 変更履歴情報比較機能用ジョブ制御文の修正

変更履歴情報比較機能用ジョブ制御文を図11.7に示す。

提供JCLファイル中のメンバ名は“H I S T”である。下線部は修正箇所を示す。なお、下線が引かれていない部分でも、システムに合わせて装置名などを変更する。

```
//USER01X JOB XXXXX, CLASS=A, MSGCLASS=R
//JOBLIB DD DSN=USER01.LIBCOMP.LOAD, DISP=SHR _____ ①
// DD DSN=SYS1.COBLIB, DISP=SHR _____ ② (注)
// DD DSN=SYS1.ADJUST.LINKLIB, DISP=SHR _____
//JOB CAT DD DSN=N8UCAT, DISP=SHR _____ ③
//IMAGELIB DD DSN=USER01.LIBCOMP.IMAGELIB, DISP=SHR, UNIT=SYSDA, _____ ④
// VOL=SER=DASD01
// DD DSN=SYS1.YPS.IMAGELIB, DISP=SHR
//HIST EXEC PGM=JSMVS000, REGION=2048K, SPARM='LANG=E',
// PARM='HISTORY(ALL, CONTROL, LINE=85)' _____ ⑤
//SOCLIB DD DSN=USER01.TEST.GEMCOB, DISP=SHR _____ ⑥
//JSMVSLST DD SYSOUT=*, FCB=STD3, FLASH=VFS1, CHARS=YPSA _____ ⑦
//JSMVSOUT DD SYSOUT=*, FCB=STD3, FLASH=VFS4
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//SYSOUT DD DUMMY
//JSMVSOT1 DD DSN=USER01.UPDATE.MAST, DISP=(NEW, CATLG), UNIT=SYSDA, _____ ⑧
// VOL=SER=DASD01, SPACE=(TRK, (1, 1, 1)),
// DCB=(DSORG=PO, RECFM=VB, LRECL=255, BLKSIZE=2554)
//JSMVS001 DD DSN=SS001, DISP=NEW, SPACE=(TRK, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//JSMVS002 DD DSN=SS002, DISP=NEW, SPACE=(TRK, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//SORTWK01 DD DSN=SSWK01, DISP=NEW, SPACE=(CYL, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//SORTWK02 DD DSN=SSWK02, DISP=NEW, SPACE=(CYL, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//SORTWK03 DD DSN=SSWK03, DISP=NEW, SPACE=(CYL, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//SORTWK04 DD DSN=SSWK04, DISP=NEW, SPACE=(CYL, (20, 10)), UNIT=SYSDA
//SYSIN DD *
@COMPARE
-MOPT MEMBER=ALL
/*
//
```

図11.7 変更履歴情報比較機能用ジョブ制御文

- ① V F - L I B C O M Pのロードモジュールライブラリを指定する。
- ② C O B O L 8 5ライブラリ、A D J U S Tなどの必要プログラムのライブラリを指定する。
- ③ ユーザカタログを指定する。
- ④ V F - L I B C O M Pのイメージライブラリを指定する。
- ⑤ V F - L I B C O M Pのオプションを指定する。
- ⑥ 比較を行うGEMライブラリを指定する。
- ⑦ 用紙制御イメージ識別子は、8 L P Iのものを指定する。  
Y P Sを比較するときは、CHARSパラメタに実行環境でのY P S追加文字セットを指定する。
- ⑧ UPDATE制御文ファイルを指定する。

注) A D J U S Tロードモジュールライブラリには、動的結合用のトランジェントライブラリを指定すること。

#### 11.4 フォームオーバーレイソース

このソフトウェアでは、ソース比較リストと変更プログラム一覧の出力時にイメージライブラリを使用している。提供するイメージライブラリは、11インチ帳票用であり、デジタルスイッチの基準値を、垂直：4、水平：5で作成している。そのため、これ以外の基準値で使用すると、プログラムの印字位置とオーバーレイがずれて出力される。この場合は、フォームオーバーレイのMANNE R文を修正し、イメージライブラリを再作成する。

フォームオーバーレイの修正および登録方法の詳細は“OSV/MSP ADJUST使用手引書 パッチ処理機能編”を参照されたい。図11.8にMANNER文の修正方法を示す。

MANNER   ALIGN, CHAR(10,8), MOVE(-1,0)

                ↑       ↑  
                水平  垂直

図11.8 MANNER文の修正方法

MANNER文のMOVEオペランドを追加し、水平方向および垂直方向の位置を修正する。

フォームオーバーレイソースの提供JCLファイルのメンバは以下のとおりである。

- － V F S 1 : ソース比較リスト (変更履歴情報比較機能用)
- － V F S 2 : ソース比較リスト (新/旧ソース比較機能の修正分出力・セクション修正分出力用)
- － V F S 3 : ソース比較リスト (新/旧ソース比較機能の全出力用・セクション全出力用)
- － V F S 4 : 変更プログラム一覧

## 12. 稼働確認

このソフトウェアの稼働確認の方法を説明する。

### 12.1 新／旧ソース比較機能の稼働確認

提供JCLファイルのメンバ“CHECK”を修正し、実行する。図12.1から図12.3はこのジョブ制御文で出力したドキュメント、図12.4は修正文ファイルの内容である。

#### ・ジョブ制御文の修正

稼働確認のためのジョブ制御文の修正箇所を説明する。説明以外の箇所は“11.3 実行用ジョブ制御文の修正”で修正した内容と同じである。

－ PARMパラメタに以下のように実行時オプションを指定する。

```
'CHECK(ALL, YPSV10, PFD, COM2, BLANK, LINE=85)'
```

－ 入力元の旧ソースライブラリに稼働確認用旧YPS ソースライブラリを指定する。

－ 入力元の新ソースライブラリに稼働確認用新YPS ソースライブラリを指定する。

－ SYSIN制御文に@COMPARE制御文を指定し、-MOP T補助制御文に  
MEMBER= 'PROG0001'を指定する。

ソース比較リスト (新／旧ソース比較)	モジュール名	(変更前) PROG0001	最新更新日付	(変更前)	)
		(変更後) PROG0001		(変更後)	
変 更 前					→続く
<div>ファイル指定 ファイル識別名は OUT 0 1 ファイル名は 入庫数ファイル ファイル識別名は I O 0 1</div> <div>出庫数—出庫 データ形式は 9 ( 4 ) データ形式は X ( 6 1 )</div> <div>入庫数—入庫 データ形式は 9 ( 4 )</div>					<div>ファイル指定</div> <div>出庫数—出庫</div> <div>入庫数—入庫</div> <div>)</div>

レ ベ ル	(変更前)	作成日	担当	ページ
	(変更後)	**** (注 1)		1
続き→ 変 更 後				区分
ファイル識別名は OUT 0 1 ファイル名は 入出庫数ファイル ファイル識別名は I O 0 1				追加 削除
データ形式は 9 ( 4 )				削除
データ形式は 9 ( 4 ) データ形式は X ( 6 1 )				追加

注 1) 作成日には、ソース比較リストを出力した日付が出力される。

図12.1 新/旧ソース比較機能のドキュメント

ソース比較リスト (新／旧ソース比較)	モジュール名	(変更前) PROG0001	最新更新日付	(変更前)	}
		(変更後) PROG0001		(変更後)	
変 更 前					→続く
** 変更状況 ** 変更前    ステップ数    =    3 8 3 ステップ 追加       ステップ数    =    1 3 ステップ 更新       ステップ数    =    0 ステップ 削除       ステップ数    =    1 0 ステップ 変更後    ステップ数    =    3 8 6 ステップ					}
~					}
~					}

レベル	(変更前)	作成日	担当	ページ
	(変更後)	**** (注1)		8
続き→ 変 更 後				区分
				~
				~

注1) 作成日には、ソース比較リストを出力した日付が出力される。

図12.2 新/旧ソース比較機能のドキュメント



<div>変更プログラム一覧</div>					}}	
No.	プログラム名 (A/N)	変更前ステップ数	追加ステップ数	更新	→続く	
1	PROG0001	383	13			
~	~	~	~	~		
~	~	~	~	~		
	合 計	383	13		}}	

				作成日	担当	ページ
				**** (注1)		1
続き→	ステップ数	削除ステップ数	変更後ステップ数	備 考		
	0	10	386			
	~	~	~			
	0	10	386			

注1) 作成日には、変更プログラム一覧を出力した日付が出力される。

図12.3 新/旧ソース比較機能のドキュメント

```

I00002370
D00002370
D00004700
I00006100
I00007800
I00009100
D00009100
I00017900
D00017900
D00023250
I00025050
D00025050
I00025240
D00025200
D00025333
D00025366
I00026450
I00027771
I00029050
I00029100
D00029100
I00038550
I00039650
A...”.....イ (注)

```

注) ステップ情報レコードで、16進数表示にすると以下のようになる。

```

A...”.....イ
C000700000000000000008
I001F000D0000000A0012

```

図12.4 修正文ファイルの内容

修正文ファイルの内容が図12.4と同じであることをPFDまたはAP/DFで確認すること。

“11.3 実行用ジョブ制御文の修正”で修正した修正文ファイルである。

標準データセット名はUSER01.SYUSEI.MASTである。

## 12.2 変更履歴情報比較機能の稼働確認

提供JCLファイルのメンバ“HIST”を修正し、実行する。図12.5から図12.7はこのジョブ制御文で出力したドキュメント、図12.8はUPDATE制御文ファイルの内容である。

### ・ジョブ制御文の修正

稼働確認のためのジョブ制御文の修正箇所を説明する。説明以外の箇所は“11.3 実行用ジョブ制御文の修正”で修正した内容と同じである。

ー PARMパラメタに以下のように実行時オプションを指定する。

'HISTORY (ALL, CONTROL, LINE=85)'

ー 入力元のソースライブラリに稼働確認用COBOL GEM ソースライブラリを指定する。

ー SYSIN制御文に@COMPARE制御文を指定し、-MOP T補助制御文にMEMBER=ALLを指定する。

ソース比較リスト (変更履歴情報比較)	モジュール名	(変更前) PROG0002	最新更新日付	(変更前) 91. 2. 8	
		(変更後) PROG0002		(変更後) 91. 2. 14	
変 更 前					→続く
-----*-----1-----*-----2-----*-----3-----*-----4-----*-----5-----*-----6-----* 000100 IDENTIFICATION DIVISION. 000200* COBSOC1 COPYRIGHT FUJITSU LIMITED 1991 000300 PROGRAM-ID. COBSOC1.					-----*-----1----- 000100 IDENT 000200* PRO 000300 PROGR
001700 03 PARA0001-2 PIC 9(3). 001800 COPY COPY0001. 001900 03 PARA0001-3 PIC X(2).					001700 0 001900 0
004600* 004700 LINKAGE SECTION. 004800*					004600* 004700*LINKA 004800*
006700 MOVE 流動資産 R TO 流動資産. 006900 MOVE 固定資産 R TO 固定資産. 007300 CALL 'LISTPG1' USING 流動資産 流動負債					006700 M 006800 M 006900 M 007300 C

レ ベ ル	(変更前) 1	作成日	担当	ページ
	(変更後) 3	**** (注1)		1
変 更 後				区分
--*----2----*----3----*----4----*----5----*----6----* IFICATION DIVISION. G0002 COPYRIGHT FUJITSU LIMITED 1991 AM-ID. PROG0002.				更新 更新
3 PARA0001-2 PIC 9(3).				削除
3 PARA0001-3 PIC X(2).				
GE SECTION.				更新
OVE 流動資産 R TO 流動資産. OVE 流動負債 R TO 流動負債. OVE 固定資産 R TO 固定資産.				追加
ALL 'LISTPG2' USING 流動資産 流動負債				更新

注1) 作成日には、ソース比較リストを出力した日付が出力される。

図12.5 変更履歴情報比較機能のドキュメント

ソース比較リスト (変更履歴情報比較)	モジュール名	(変更前) PROG0002	最新更新日付	(変更前) 91. 2. 8	}	}
		(変更後) PROG0002		(変更後) 91. 2. 14		
変 更 前					→続く	
** 変更状況 ** 変更前    ステップ数    =    2 7 5 ステップ 追加       ステップ数    =       7 ステップ 更新       ステップ数    =       1 0 ステップ 削除       ステップ数    =       2 ステップ 変更後    ステップ数    =    2 8 0 ステップ					~ ~	
					}	

レ ベ ル	(変更前)	作成日	担当	ページ
	1	* * * * (注 1)		5
	(変更後) 3			
続き→ 変 更 後				区分
				～
				～
				～

注1) 作成日には、ソース比較リストを出力した日付が出力される。

図12.6 変更履歴情報比較機能のドキュメント

<div>変更プログラム一覧</div>					}}	
No.	プログラム名 (A/N)	変更前ステップ数	追加ステップ数	更新	→続く	
1	PROG0002	275	7			
~	~	~	~	~		
~	~	~	~	~		
	合 計	275	7		}}	

				作成日	担当	ページ
				**** (注1)		1
続き→	ステップ数	削除ステップ数	変更後ステップ数	備 考		
	10	2	280			
	~	~	~			
	10	2	280			

注1) 作成日には、変更プログラム一覧を出力した日付が出力される。

図12.7 変更履歴情報比較機能のドキュメント

```

- UPDATE  PROG0002
000200*  PROG0002 COPYRIGHT FUJITSU LIMITED 1991
000300 PROGRAM-ID.          PROG0002.
- DELETE  001800
004700*LINKAGE              SECTION.
006800      MOVE  流動負債R TO  流動負債.
007300      CALL  'LISTPG2' USING 流動資産 流動負債
007700          MOVE SPACE TO 比率分析レコード
007800          WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE
008800          MOVE SPACE TO 比率分析レコード
008900          WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE
010500          MOVE SPACE TO 比率分析レコード
010600          WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE
012500      MOVE  '1' TO  PARA0001-1-1.
- DELETE  012900
018600          MOVE  'ON' TO  流動比率フラグ
018800          MOVE  'OFF' TO  流動比率フラグ
019500          機械装置 +
024600          機械装置 +
028200 END PROGRAM  PROG0002.

```

図12.8 UPDATE制御文ファイルの内容

UPDATE制御文ファイルの内容が図12.8と同じであることをPFDまたはAP/DFで確認すること。

“11.3 実行用ジョブ制御文の修正”で修正したUPDATE制御文ファイルである。

標準データセット名はUSER01.UPDATE.MASTである。

### 1 3 . マニュアル修正事項

#### 1 3 . 1 適用マニュアルの正誤表

◆参照 → 3

既存機能に対する説明の訂正・補足を示す。

表13.1 適用マニュアルの正誤表

項番	ページ	行・位置	旧 記 述 (誤)	新 記 述 (正)
1	21	1.6 制限事項	(記述追加)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ー COBOLソースで、手続き部開始 ( “ PROCEDURE ” ) の文字列が記述されていない場合、ソース比較リストが正しく出力されない。</li> <li>ー 変更履歴情報比較では、ライブラリパスワードを使用できない。</li> </ul>
2	68	3.1.2.1 新/旧ソース比較のオプション [オプションの意味]	OLDPSW=パスワード : モジュール・パスワードの指定  NEWPSW=パスワード : モジュール・パスワードの指定	OLDPSW=パスワード : ライブラリパスワードの指定  NEWPSW=パスワード : ライブラリパスワードの指定
3	72	3.1.2.2 変更履歴情報比較のオプション [オプションの意味]	ソースライブラリ (SOCLIB) が GEM でかつ、パスワード保護されている場合、そのパスワードを指定する。	ソースライブラリ (SOCLIB) が GEM でかつ、モジュールのパスワードで保護されている場合、そのモジュールのパスワードを指定する。ただし、ライブラリパスワードが設定されている場合は注意が必要である。モジュールのパスワード保護はなく、ライブラリパスワードが設定されている場合は、当PSWオプションの指定は必要ない。モジュールのパスワード保護があり、ライブラリパスワードが設定されている場合は、エラーとなり処理できない。
4	99	3.2 注意事項	言語タイプの判定方法の説明を追加	◆参照 → 1 3 . 1 . 1
5	128	5.2.2 診断メッセージ	手続き部が存在しない場合のメッセージを追加	◆参照 → 1 3 . 1 . 2
6	—	付録C VF-LIBCOMPのプロフィール取得方法	VF-LIBCOMPのプロフィール取得方法の説明を追加	◆参照 → 1 3 . 1 . 3

### 1 3 . 1 . 1 言語タイプの判定方法

#### 【旧記述】

(記述追加)

#### 【新記述】

#### 14) 言語タイプの判定方法

##### ・新／旧ソース比較機能

##### YPS/COBOLの判定

- － 入力ソースの1レコード目の9～12バイト目が“FE10”または“FEFF”である。

##### COBOLの判定（以下のどれかに該当すること）

- － 入力ソースの1レコード目の7バイト目が“\*”以外で、8～25バイト目に“ IDENTIFICATION ”の文字が存在する。
- － 入力ソースの1レコード目の7バイト目が“\*”以外で、8～13バイト目に“ ID ”の文字が存在する。
- － 入力ソースの1レコード目に翻訳指示文(“@OPTIONS ”または“CBL ”)が存在する。
- － 入力ソースの1レコード目の7バイト目が“\*”である。

##### ・変更履歴情報比較機能

##### YPS/COBOLの判定

- － GEMディレクトリの言語タイプが“YPS”である。

##### COBOLの判定

GEMディレクトリの言語タイプが“COBOL”であり、以下のどれかに該当すること。

- － 入力ソースの1レコード目の7バイト目が“\*”以外で、8～25バイト目に“ IDENTIFICATION ”の文字が存在する。
- － 入力ソースの1レコード目の7バイト目が“\*”以外で、8～13バイト目に“ ID ”の文字が存在する。
- － 入力ソースの1レコード目に翻訳指示文(“@OPTIONS”または“CBL ”)が存在する。
- － 入力ソースの1レコード目の7バイト目が“\*”である。



### 13. 1. 2 手続き部が存在しない場合のメッセージ

#### 【旧記述】

(記述追加)

#### 【新記述】

JSMVSG18-W

指定された新メンバ' meml' は' PROCEDURE DIVISION' が存在しません.

[メッセージの意味]

指定されたメンバは, 手続き部のキーワードが存在しない.

[パラメタの意味]

meml: 新ライブラリのメンバ名

[システムの処理]

処理を続行する.

[利用者の処置]

該当箇所を確認する.

JSMVSG19-W

指定された旧メンバ' meml' は' PROCEDURE DIVISION' が存在しません.

[メッセージの意味]

指定されたメンバは, 手続き部のキーワードが存在しない.

[パラメタの意味]

meml: 旧ライブラリのメンバ名

[システムの処理]

処理を続行する.

[利用者の処置]

該当箇所を確認する.

### 1 3 . 1 . 3 付録C VF-LIBCOMPのプロフィール取得方法

【旧記述】

（記述追加）

【新記述】

## 付録C VF-LIBCOMPのプロフィール取得方法

VF-LIBCOMPのバージョンレベル等のプロフィールを，コマンドプロシジャを起動して参照したり，ユーザーチンから呼び出して取得したりすることができる．

- コマンドプロシジャでのプロフィール通知
- ユーザーチンへのプロフィール通知

### C.1 コマンドプロシジャでのプロフィール通知

プログラム名JSMWPRF0をコマンドプロシジャにより起動してプロフィールを参照する．

起動時にV/L，修正No.，修正日付，修正時刻，実行ユーザID，実行日付，および実行時間を表示する．

[起動用コマンドプロシジャ]

```
ALLOC DD(SYSOUT) DS(*) REU
LIB   'COBOL85ライブラリ名'
CALL  'VF-LIBCOMPロードモジュールライブラリ 名(JSMWPRF0)' 'PW'
```

備考：下線付の部分はユーザ用に修正する．

XSP ではSYSOUT DD 名をLIST DD 名に修正する．

[表示形式]

```
*****
*
*      SIMPLIA/VF-LIBCOMP          V22/L20①
*
*      修正NO ***** 24/10/18
*              ②          ③      修正時刻 13.44 ④*
*              ②          ③      実行ユーザ ID USER01 ⑤*
*              ②          ③      実行日付 13/11/18 ⑥*
*              ②          ③      実行時間 09.57.44 ⑦*
*
*****
```

付図C.1 プロフィール参照用コマンドプロシジャと表示形式

①V/L : 製品名称の右にバージョンレベルが表示される．

- ②修正NO : 製品版は, “\*\*\*\*\*” が表示される.  
修正版は, 修正No.が表示される.
- ③修正日付 : 製品版または修正版の作成日が表示される. (dd/mm/yy)
- ④修正時刻 : 製品版または修正版の作成時刻が表示される. (hh. mm )
- ⑤実行ユーザ ID : 実行しているユーザIDが表示される.
- ⑥実行日付 : 実行した日付が表示される. (dd/mm/yy)
- ⑦実行時間 : 実行した時刻が表示される. (hh. mm. ss)

## C.2 ユーザーチンへのプロフィール通知

プログラム名JSMWPRF1をユーザーチンより呼び出すことによりプロフィールを取得する.

JSMWPRF1はユーザーチンに, V/L , 修正No., 修正日付, 修正時刻, 実行ジョブ名, 実行日付および実行時刻を通知する.

[呼出形式]

CALL 'JSMWPRF1' USING パラメタ
----------------------------

[パラメタの内容と説明]

レベル	項目名	属 性	内 容
01	パラメタ		
03	依頼パラメタ		ユーザーチンで設定する領域
05	依頼入力区分	X (01)	'P' を設定
05	依頼処理形態	X (01)	'B' を設定
05	依頼ツール名	X (01)	'W' を設定
05	FILLER	X (08)	
03	結果パラメタ		JSMWPRF1が設定する領域
05	ツール名	X (30)	'SIMPLIA/VF-LIBCOMP'
05	バージョンレベル	X (06)	VF-LIBCOMPのバージョンレベル
05	修正NO	X (10)	VF-LIBCOMPの修正No.
05	修正日付	X (08)	VF-LIBCOMPの修正日付 (yy. mm. dd)
05	修正時刻	X (08)	VF-LIBCOMPの修正時刻 (hh. mm)
05	FILLER	X (08)	
05	実行ジョブ名	X (08)	動作しているジョブ名
05	FILLER	X (08)	
05	実行日付	X (08)	JSMWPRF1の実行日付 (yy. mm. dd)
05	実行時刻	X (08)	JSMWPRF1の実行時刻 (hh. mm. ss)
05	リターンコード	9 (02)	00: 正常 03: 入力区分エラー 04: 処理形態エラー 05: ツール名エラー
05	FILLER	X (08)	

付図C.2 JSMWPRF1の呼出形式とパラメタの内容と説明

### 1 3 . 2 追加機能の使用方法

V22L20以降で行われた機能追加・改良点の使用方法を示す。

適用マニュアルを参照の上、本内容を参照する。

◆参照 → 3

表13.2 追加機能の使用方法

項番	機 能	説 明
1	帳票出力形式選択機能	新／旧ソース比較機能および変更履歴情報比較機能の帳票をテキスト形式ファイルとCSV形式ファイルに出力する。 ◆参照 → 1 3 . 2 . 1
2	一連番号比較機能	新／旧ソース比較機能の比較精度を向上させるため、一連番号を比較対象とする。 ◆参照 → 1 3 . 2 . 2
3	新／旧ソースの比較ステップ数の制限緩和	新／旧ソース比較機能において、3000ステップ制限版のロードモジュールライブラリを提供する。 ◆参照 → 1 3 . 2 . 3

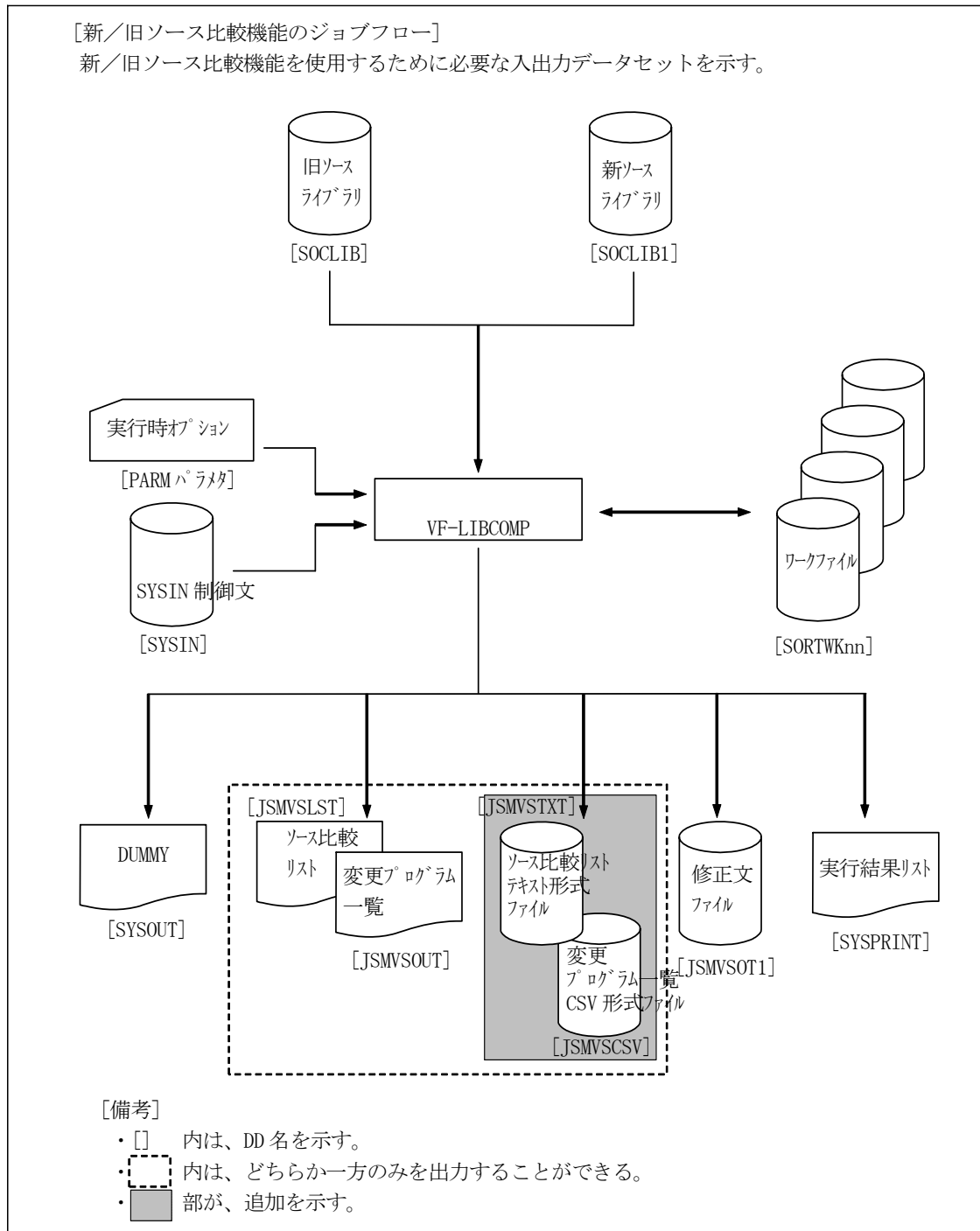
#### 1 3 . 2 . 1 帳票出力形式選択機能

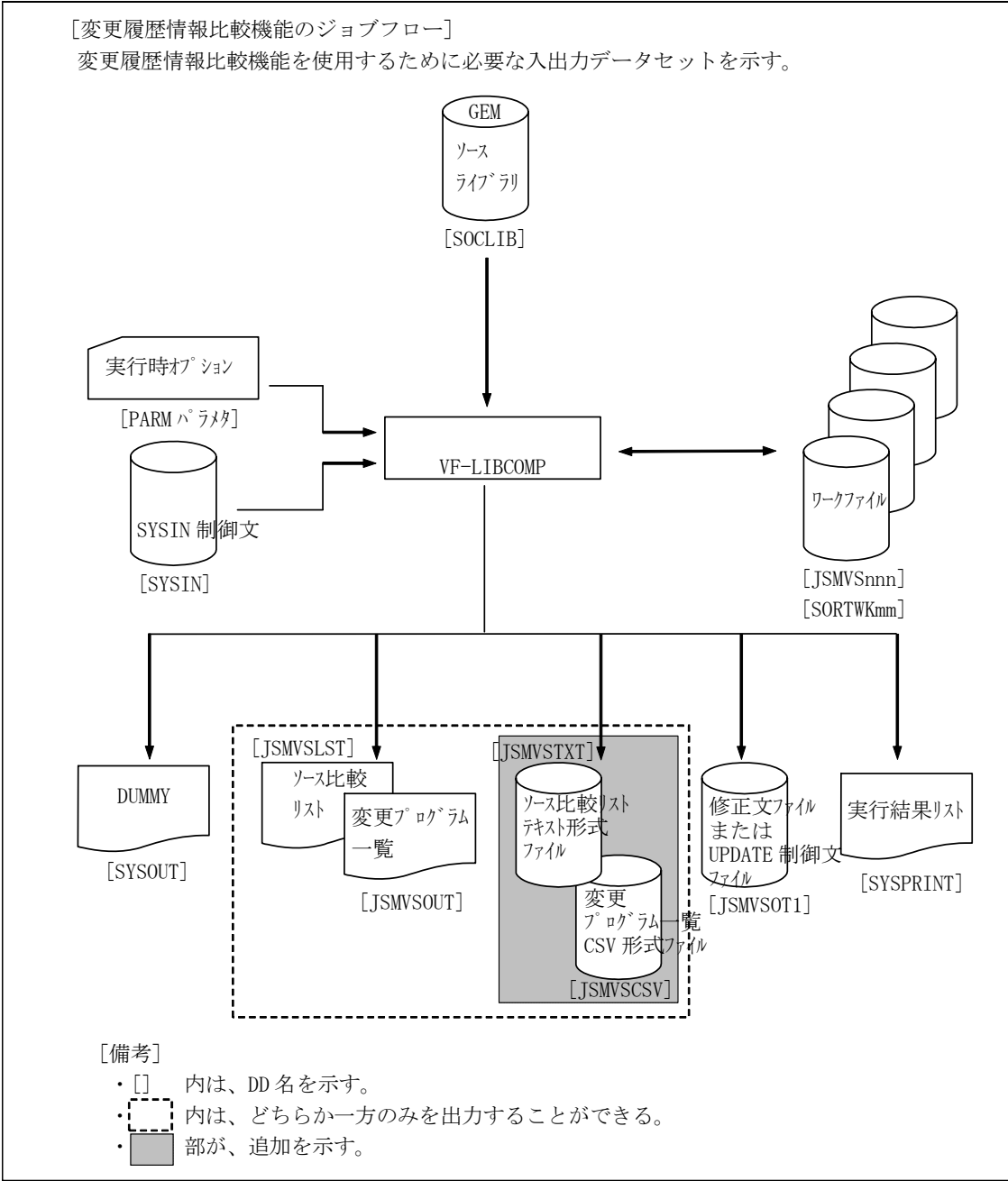
テキスト形式ファイルとCSV形式ファイル出力（以降、ファイル出力と呼ぶ）の機能および使用方法を説明する。

##### 1 3 . 2 . 1 . 1 機能概要

新／旧ソース比較機能および変更履歴情報比較機能のソース比較リストをテキスト形式ファイルへ、変更プログラム一覧をCSV形式ファイルへ出力する。

### 13.2.1.2 入出力ファイル関連図





1 3 . 2 . 1 . 3 入出力ファイル情報

1 3 . 2 . 1 . 3 . 1 テキスト形式ファイルとCSV形式ファイル

ソース比較リストをテキスト形式および変更プログラム一覧をCSV形式で出力するには、実行JCLに出力先DD名を定義し、実行時オプションの帳票出力先指定でファイル出力を指示する。

・テキスト形式ファイル（ソース比較リスト）

DD名	編成	レコード形式	レコード長 (バイト)	ブロック長 (バイト)	装置
JSMVSTXT	PS	V または VB	281	レコード長× n + 4 以上	DASD

n : ブロック化因数

DASD容量見積り

ートラック数

(平均ソースレコード数(\*1)+平均修正レコード数(\*2))  
×処理対象メンバ数(\*3)

$$\left[ \frac{47476(*4)}{\text{ブロック長}+512} \right] \times \text{ブロック化因数}$$

\*1: 比較対象メンバのソースレコード数の平均  
\*2: 比較結果(追加/更新/削除)のレコード数の平均  
\*3: SYSIN制御文で指定した条件に該当するメンバ数  
\*4: F6425 の場合

・CSV形式ファイル(変更プログラム一覧)

DD名	編成	レコード形式	レコード長(バイト)	ブロック長(バイト)	装置
JSMVSCSV	PS	V または VB	133	レコード長× n+4 以上	DASD

n: ブロック化因数

DASD容量見積り

ートラック数

処理対象メンバ数(\*5)

$$\left[ \frac{47476(*6)}{\text{ブロック長}+512} \right] \times \text{ブロック化因数}$$

\*5: SYSIN制御文で指定した条件に該当するメンバ数  
\*6: F6425 の場合

#### 1 3 . 2 . 1 . 4 ファイルに出力する場合のオプション説明

出力行数の指定オプションを帳票出力先の指定オプションに変更した。

・帳票出力先の指定オプション

$$\left[ , \left\{ \begin{array}{l} \text{LINE} = \left\{ \begin{array}{l} 85 \\ n \end{array} \right\} \\ \text{FILE} \end{array} \right\} \right]$$

当オプションを省略した場合は、“LINE=85”が指定されたもののみです。

LINE=n : 帳票をプリンタ出力とする場合に指定し、帳票1ページ当たりの出力行数を指定する。

n=20~99

FILE : 帳票をファイル出力とする場合に指定する。

#### 1 3 . 2 . 1 . 4 . 1 新/旧ソース比較機能

帳票出力先の指定オプションを新/旧ソース比較機能で指定する場合を説明する。

[OSIV/MSPの場合]

// EXEC PGM=JSMVS000, REGION=2048K, PARM='CHECK(FILE)'

[OSIV/XSPの場合]

¥ EX JSMVS000, RSIZE=2048  
¥ PARA CHECK(FILE)



帳票出力先の指定オプションにより、指定するDD名が異なる。ただし、YPSソースに対するソース比較リストのテキスト形式ファイルは出力されない。このとき、エラーメッセージ“JSMVSP10-W”が出力される。

帳票出力先の指定オプションと指定するDD名を以下に示す。

帳票出力先指定	帳票名	DD名	必須	選択	帳票出力有(○)無(ー)		
					言語タイプ指定		
					YPSVxx	COBOL	ANY
LINE	ソース比較リスト	JSMVSLST	○	ー	○	○	○
	変更プログラム一覧	JSMVSOUT	○	ー	○	○	○
	修正文ファイル	JSMVSOT1	ー	○	○(*7)	○(*7)	ー
FILE	ソース比較リスト	JSMVSTXT	○	ー	ー	○	○
	変更プログラム一覧	JSMVSCSV	○	ー	○	○	○
	修正文ファイル	JSMVSOT1	ー	○	○(*7)	○(*7)	ー

\*7: 修正文ファイルを指定した場合に出力される。

### 13. 2. 1. 4. 2 変更履歴情報比較機能

帳票出力先の指定オプションを変更履歴情報比較機能で指定する場合を説明する。

[OSIV/MSPの場合]

// EXEC PGM=JSMVS000, REGION=2048K, SPARM='LANG=E', PARM='HISTORY (FILE)'

[OSIV/XSPの場合]

¥ EX JSMVS000, RSIZE=2048, LANG=E  
¥ PARA HISTORY (FILE)

帳票出力先の指定オプションにより、指定するDD名が異なる。ただし、YPSソースに対するソース比較リストのテキスト形式ファイルは出力されない。このとき、エラーメッセージ“JSMVSF21-W”が出力される。

帳票出力先の指定オプションと指定するDD名を以下に示す。

帳票出力先指定	帳票名	DD名	必須	選択	帳票出力有(○)無(ー)	
					比較対象ソースの言語タイプ	
					YPS	COBOL
LINE	ソース比較リスト	JSMVSLST	○	ー	○	○
	変更プログラム一覧	JSMVSOUT	○	ー	○	○
	修正文ファイル/ UPDATE制御文ファイル	JSMVSOT1	ー	○	○(*8)	○(*8)
FILE	ソース比較リスト	JSMVSTXT	○	ー	ー	○
	変更プログラム一覧	JSMVSCSV	○	ー	○	○
	修正文ファイル/ UPDATE制御文ファイル	JSMVSOT1	ー	○	○(*8)	○(*8)

\*8: 修正文ファイルまたはUPDATE制御文ファイルを指定した場合に出力される。

### 13. 2. 1. 5 フォーマット説明

- ・テキスト形式ファイルのフォーマット（ソース比較リスト）

帳票と同じ情報を出力する。

- ・CSV形式ファイルのフォーマット（変更プログラム一覧）

帳票と同じ情報を出力する。

－ 見出し行	
帳票名	N(09)
作成日付	X(10)
担当	出力なし(ヘッダーのみ出力)
－ 明細行	
NO	9(04)
プログラムID	X(08)
変更前ステップ数	9(09)
追加ステップ数	9(09)
更新ステップ数	9(09)
削除ステップ数	9(09)
変更後ステップ数	9(09)
備考	出力なし(ヘッダーのみ出力)
－ 合計行	
NO	出力なし(ヘッダーのみ出力)
プログラムID	“合計”
変更前ステップ数計	9(09)
追加ステップ数計	9(09)
更新ステップ数計	9(09)
削除ステップ数計	9(09)
変更後ステップ数計	9(09)
備考	出力なし(ヘッダーのみ出力)

### 13. 2. 1. 6 ジョブ制御文例

- ・新／旧ソース比較機能

[OSIV/MSPの場合]

```
//USER01A JOB CLASS=C,MSGCLASS=N,NOTIFY=USER01
//JOB LIB DD DSN=USER01.LIBCOMP.LOAD,DISP=SHR
//IMAGELIB DD DSN=USER01.LIBCOMP.IMAGE,DISP=SHR
//CHECK EXEC PGM=JSMVS000,REGION=2048K,SPARM='LANG=E'
// PARM='CHECK(SECALL,FILE)'
//SOCLIB DD DSN=USER01.OLD.SOC,DISP=SHR
//SOCLIB1 DD DSN=USER01.NEW.SOC,DISP=SHR
//SORTWK01 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(10,10))
//SORTWK02 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(10,10))
//SORTWK03 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(10,10))
//SORTWK04 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(10,10))
//JSMVSTXT DD DSN=USER01.CHECK.JSMVSTXT,DISP=(NEW,CATLG),
// UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(10,10)),VOL=SER=USER03,
// DCB=(RECFM=VB,LRECL=281,BLKSIZE=2814)
//JSMVSCSV DD DSN=USER01.CHECK.JSMVSCSV,DISP=(NEW,CATLG),
// UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(1,1)),VOL=SER=USER03,
// DCB=(RECFM=VB,LRECL=133,BLKSIZE=1334)
//JSMVSOT1 DD DSN=USER01.CHECK.JSMVSOT1,DISP=(NEW,CATLG),
// UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(5,1,2)),VOL=SER=USER03,
// DCB=(DSORG=PO,RECFM=VB,LRECL=25,BLKSIZE=2504)
//SYSOUT DD DUMMY
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//SYSIN DD *
@COMPARE
-MOPT M='AA10900'
/*
//
```

[OSIV/XSPの場合]

```

% JOB GB
% JOB USER01A, LIST=(N, JD), PSW=XXXX
%CHECK EX JSMVS000, RSIZE=2048, LANG=E
% PARA CHECK (SECALL, FILE)
% FD PRGLIB=DA, FILE=USER01. LIBCOMP. LOAD
% FD CF=DA, FILE=C. ALIB
% FD CF=DA, FILE=SYS. ADJUST. LINKLIB
% FD SOCLIB=DA, FILE=USER01. OLD. SOC
% FD SOCLIB1=DA, FILE=USER01. NEW. SOC
% FD SORTWK01=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10)
% FD SORTWK02=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10)
% FD SORTWK03=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10)
% FD SORTWK04=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10)
% FD JSMVSTXT=DA, FILE=USER01. CHECK. JSMVSTXT,
TRK=(10, 10), VOL=USER03, DISP=CAT,
FCB=(RECFM=VB, LRECL=281, BLKSIZE=2814)
% FD JSMVSCSV=DA, FILE=USER01. CHECK. JSMVSCSV,
TRK=(10, 10), VOL=USER01, DISP=CAT,
FCB=(RECFM=VB, LRECL=133, BLKSIZE=1334)
% FD JSMVSOT1=DA, FILE=(USER01. CHECK. JSMVSOT1, AD)
% FD LIST=DUMMY
% FD SYSPRINT=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10), SOUT=N
% FD UIN=*
@COMPARE
-MOPT M='AA10900'
%/
% JEND
% JGEND

```

・変更履歴情報比較機能

[OSIV/MSPの場合]

```

//USER01A JOB CLASS=C, MSGCLASS=N, NOTIFY=USER01
//JOB LIB DD DSN=USER01. LIBCOMP. LOAD, DISP=SHR
//IMAGELIB DD DSN=USER01. LIBCOMP. IMAGE, DISP=SHR
//HIST EXEC PGM=JSMVS000, REGION=2048K, SPARM='LANG=E'
// PARM= HISTORY (PART, FILE)
//SOCLIB DD DSN=USER01. GEM. SOC. DISP=SHR
//SORTWK01 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 10))
//SORTWK02 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 10))
//SORTWK03 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 10))
//SORTWK04 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 10))
//JSMVSTXT DD DSN=USER01. HIST. JSMVSTXT, DISP=(NEW, CATLG),
// UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 10)), VOL=SER=USER03,
// DCB=(RECFM=VB, LRECL=281, BLKSIZE=2814)
//JSMVSCSV DD DSN=USER01. HIST. JSMVSCSV, DISP=(NEW, CATLG),
// UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (1, 1)), VOL=SER=USER03,
// DCB=(RECFM=VB, LRECL=133, BLKSIZE=1334)
//JSMVSOT1 DD DSN=USER01. HIST. JSMVSOT1, DISP=(NEW, CATLG),
// UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (5, 1, 2)), VOL=SER=USER03,
// DCB=(DSORG=PO, RECFM=VB, LRECL=255, BLKSIZE=2554)
//SYSOUT DD DUMMY
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//SYSIN DD *
@COMPARE
-MOPT M='AA10900'
/*
//

```

[OSIV/XSPの場合]

```
¥      JOBG  GB
¥      JOB   USER01A, LIST=(N, JD), PSW=XXXX
¥HIST      EX   JSMVS000, RSIZE=2048, LANG=E
¥          PARA  HISTORY(PART, FILE)
¥          FD   PRGLIB=DA, FILE=USER01. LIBCOMP. LOAD
¥          FD   CF=DA, FILE=C. ALIB
¥          FD   CF=DA, FILE=SYS. ADJUST. LINKLIB
¥          FD   SOCLIB=DA, FILE=USER01. GEM. SOC
¥          FD   SORTWK01=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10)
¥          FD   SORTWK02=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10)
¥          FD   SORTWK03=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10)
¥          FD   SORTWK04=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10)
¥          FD   JSMVSTXT=DA, FILE=USER01. HIST. JSMVSTXT,
¥          TRK=(10, 10), VOL=USER03, DISP=CAT,
¥          FCB=(RECFM=VB, LRECL=281, BLKSIZE=2814)
¥          FD   JSMVSCSV=DA, FILE=USER01. HIST. JSMVSCSV,
¥          TRK=(10, 10), VOL=USER01, DISP=CAT,
¥          FCB=(RECFM=VB, LRECL=133, BLKSIZE=1334)
¥          FD   JSMVSOT1=DA, FILE=(USER01. HIST. JSMVSOT1, AD)
¥          FD   LIST=DUMMY
¥          FD   SYSPRINT=DA, VOL=WORK, TRK=(10, 10), SOUT=N
¥          FD   UIN=*
¥          @COMPARE
¥          -MOPT  M=' AA10900'
¥/
¥      JEND
¥      JGEND
```

# 13.2.1.7 出力例

・テキスト形式ファイル（帳票出力指定：ALL）の例

ソース 比較 リ ス ト ( 新/旧ソース比較 )				モジュール名	最新更新日	レベル	作 成 日	担 当
変更前				PRD0002	1991. 2.14	1	2018.11.27	
変更後				PRD0002	1991. 2.14	3		

変 更 前		変 更 後		区 分	
1	2	3	4	5	6
000100 IDENTIFICATION	000100 IDENTIFICATION	000300 PROGRAM-ID.	000300 PROGRAM-ID.	000300	000300
000300 PROGRAM-ID.	000300 PROGRAM-ID.	000600 ENVIRONMENT	000600 ENVIRONMENT	000600	000600
000600 ENVIRONMENT	000600 ENVIRONMENT	000700 SOURCE-COMPUTER.	000700 SOURCE-COMPUTER.	000700	000700
000700 SOURCE-COMPUTER.	000700 SOURCE-COMPUTER.	000800 OBJECT-COMPUTER.	000800 OBJECT-COMPUTER.	000800	000800
000800 OBJECT-COMPUTER.	000800 OBJECT-COMPUTER.	000900 DATA	000900 DATA	000900	000900
000900 DATA	000900 DATA	001200 WORKING-STORAGE	001200 WORKING-STORAGE	001200	001200
001200 WORKING-STORAGE	001200 WORKING-STORAGE	001400 01 PARA0000.	001400 01 PARA0000.	001400	001400
001400 01 PARA0000.	001400 01 PARA0000.	001500 02 PARA0001.	001500 02 PARA0001.	001500	001500
001500 02 PARA0001.	001500 02 PARA0001.	001600 03 PARA0001-1	001600 03 PARA0001-1	001600	001600
001600 03 PARA0001-1	001600 03 PARA0001-1	001700 03 PARA0001-2	001700 03 PARA0001-2	001700	001700
001700 03 PARA0001-2	001700 03 PARA0001-2	001800 COPY COPY0001.	001800 COPY COPY0001.	001800	001800
001800 COPY COPY0001.	001800 COPY COPY0001.	001900 03 PARA0001-3	001900 03 PARA0001-3	001900	001900
001900 03 PARA0001-3	001900 03 PARA0001-3	002000 03 PARA0001-4	002000 03 PARA0001-4	002000	002000
002000 03 PARA0001-4	002000 03 PARA0001-4	002100 01 PARA0002.	002100 01 PARA0002.	002100	002100
002100 01 PARA0002.	002100 01 PARA0002.	004700 LINKAGE	004700 LINKAGE	004700	004700
004700 LINKAGE	004700 LINKAGE	005000 PROCEDURE	005000 PROCEDURE	005000	005000
005000 PROCEDURE	005000 PROCEDURE	005300 SEC-MAIN	005300 SEC-MAIN	005300	005300
005300 SEC-MAIN	005300 SEC-MAIN	005600 PERFORM SEC-CALL.	005600 PERFORM SEC-CALL.	005600	005600
005600 PERFORM SEC-CALL.	005600 PERFORM SEC-CALL.	005700 PERFORM SEC-FIRST	005700 PERFORM SEC-FIRST	005700	005700
005700 PERFORM SEC-FIRST	005700 PERFORM SEC-FIRST	005800 UNTIL テーブル終了フラグ = 'ON'.	005800 UNTIL テーブル終了フラグ = 'ON'.	005800	005800
005800 UNTIL テーブル終了フラグ = 'ON'.	005800 UNTIL テーブル終了フラグ = 'ON'.	005900 PERFORM SEC-END.	005900 PERFORM SEC-END.	005900	005900
005900 PERFORM SEC-END.	005900 PERFORM SEC-END.	006000 SEC-MAIN-E.	006000 SEC-MAIN-E.	006000	006000
006000 SEC-MAIN-E.	006000 SEC-MAIN-E.	006200 SEC-FIRST	006200 SEC-FIRST	006200	006200
006200 SEC-FIRST	006200 SEC-FIRST	006400 INPUT 読取参照ファイル	006400 INPUT 読取参照ファイル	006400	006400
006400 INPUT 読取参照ファイル	006400 INPUT 読取参照ファイル	006500 OUTPUT 比率分析リスト.	006500 OUTPUT 比率分析リスト.	006500	006500
006500 OUTPUT 比率分析リスト.	006500 OUTPUT 比率分析リスト.	006600 READ 読取参照ファイル	006600 READ 読取参照ファイル	006600	006600
006600 READ 読取参照ファイル	006600 READ 読取参照ファイル	006700 MOVE 流動資産R TO 流動資産.	006700 MOVE 流動資産R TO 流動資産.	006700	006700
006700 MOVE 流動資産R TO 流動資産.	006700 MOVE 流動資産R TO 流動資産.	006900 MOVE 固定資産R TO 固定資産.	006900 MOVE 固定資産R TO 固定資産.	006900	006900
006900 MOVE 固定資産R TO 固定資産.	006900 MOVE 固定資産R TO 固定資産.	007000 MOVE 固定負債R TO 固定負債.	007000 MOVE 固定負債R TO 固定負債.	007000	007000
007000 MOVE 固定負債R TO 固定負債.	007000 MOVE 固定負債R TO 固定負債.	007100 MOVE 資本R TO 資本.	007100 MOVE 資本R TO 資本.	007100	007100
007100 MOVE 資本R TO 資本.	007100 MOVE 資本R TO 資本.	007300 CALL 'LISTPG1' USING 流動資産 流動負債	007300 CALL 'LISTPG1' USING 流動資産 流動負債	007300	007300
007300 CALL 'LISTPG1' USING 流動資産 流動負債	007300 CALL 'LISTPG1' USING 流動資産 流動負債	007400 IF 流動比率フラグ = 'ON'.	007400 IF 流動比率フラグ = 'ON'.	007400	007400
007400 IF 流動比率フラグ = 'ON'.	007400 IF 流動比率フラグ = 'ON'.	007500 THEN	007500 THEN	007500	007500
007500 THEN	007500 THEN	007600 MOVE 流動比 TO 比率	007600 MOVE 流動比 TO 比率	007600	007600
007600 MOVE 流動比 TO 比率	007600 MOVE 流動比 TO 比率	007700 WRITE 比率分析レコード AFTER 2	007700 WRITE 比率分析レコード AFTER 2	007700	007700
007700 WRITE 比率分析レコード AFTER 2	007700 WRITE 比率分析レコード AFTER 2	007800 MOVE 流動比 TO 比率	007800 MOVE 流動比 TO 比率	007800	007800
007800 MOVE 流動比 TO 比率	007800 MOVE 流動比 TO 比率	007900 WRITE 比率分析レコード AFTER 2	007900 WRITE 比率分析レコード AFTER 2	007900	007900
007900 WRITE 比率分析レコード AFTER 2	007900 WRITE 比率分析レコード AFTER 2	008100 ELSE CONTINUE.	008100 ELSE CONTINUE.	008100	008100
008100 ELSE CONTINUE.	008100 ELSE CONTINUE.	008200 CALL 'LISTPG3' USING 固定資産 固定負債	008200 CALL 'LISTPG3' USING 固定資産 固定負債	008200	008200
008200 CALL 'LISTPG3' USING 固定資産 固定負債	008200 CALL 'LISTPG3' USING 固定資産 固定負債	008400 比率分析テーブル.	008400 比率分析テーブル.	008400	008400
008400 比率分析テーブル.	008400 比率分析テーブル.	008500	008500	008500	008500
008500	008500	027900 SEC-END-E.	027900 SEC-END-E.	027900	027900
027900 SEC-END-E.	027900 SEC-END-E.	028100 EXIT PROGRAM .	028100 EXIT PROGRAM .	028100	028100
028100 EXIT PROGRAM .	028100 EXIT PROGRAM .	028200 END PROGRAM COBSOC01.	028200 END PROGRAM COBSOC01.	028200	028200
028200 END PROGRAM COBSOC01.	028200 END PROGRAM COBSOC01.				

xx	変更状況	xx
変更前	ステップ数 =	233 ステップ
追加	ステップ数 =	15 ステップ
更新	ステップ数 =	0 ステップ
削除	ステップ数 =	11 ステップ
変更後	ステップ数 =	237 ステップ

ソース比較リスト (新/旧ソース比較)				モジュール名		最新更新日	レベル	作成日	担当
変更前				PROG0002		1991.2.14	1	2018.11.27	
変更後				PROG0002		1991.2.14	3		

SEQ	英	更	前	英	更	後	区分
1	-----1-----x-----2-----x-----3-----x-----4-----x-----5-----x-----6-----			000300	PROGRAM-ID.	PROG00002.	追加 削除
2	0001800	COPY COPY0001.	COBSOC01.				削除
3	004700	LINKAGE	SECTION.				削除
4				006800	MOVE 流動負債 R TO 流動負債.		追加
5	007300	CALL 'LISTPG1' USING 流動資産 流動負債		007300	CALL 'LISTPG2' USING 流動資産 流動負債		追加 削除
6				007700	MOVE SPACE TO 比率分析レコード		追加
				007800	WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE		追加
7				008800	MOVE SPACE TO 比率分析レコード		追加
				008900	WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE		追加
8				010500	MOVE SPACE TO 比率分析レコード		追加
				010600	WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE		追加
9	012500	MOVE '1' TO PARA0001-1.		012500	MOVE '1' TO PARA0001-1-1.		追加 削除
10	012900	MOVE '1' TO PARA0005-1-1.					削除
11	018600	MOVE 'OFF' TO 流動比率フラグ		018600	MOVE 'ON' TO 流動比率フラグ		追加 削除
12	018800	MOVE 'ON' TO 流動比率フラグ		018800	MOVE 'OFF' TO 流動比率フラグ		追加 削除
13	019500		根拠装置 +	019500		根拠装置 +	追加 削除
14	024600		根拠装置 +	024600		根拠装置 +	追加 削除
15	028200	END PROGRAM COBSOC01.		028200	END PROGRAM PROG00002.		追加 削除

** 変更状況 **			
変更前	ステップ数	=	233 ステップ
追加	ステップ数	=	15 ステップ
更新	ステップ数	=	0 ステップ
削除	ステップ数	=	11 ステップ
変更後	ステップ数	=	237 ステップ

ソ ー ス 比 較 リ ス ト ( 新/旧ソース比較 )		モジュール名	最新更新日	レベル	作 成 日	担 当
変更 前		PROG0002	1991. 2.14	1	2018.11.27	
変更 後		PROG0002	1991. 2.14	3		

変 更 前		変 更 後	
000100 IDENTIFICATION 000300 PROGRAM-ID. 001300 WORKING-STORAGE 001400 01 PARAO0000. 001500 02 PARAO0001. 001600 03 PARAO0001-1 001700 03 PARAO0001-2 001800 COPY COPY0001. 001900 03 PARAO0001-3 002000 03 PARAO0001-4 002100 01 PARAO0002.	3-----X-----4-----X-----5-----X-----6-----X-----	000100 IDENTIFICATION 000300 PROGRAM-ID. 001300 WORKING-STORAGE 001400 01 PARAO0000. 001500 02 PARAO0001. 001600 03 PARAO0001-1 001700 03 PARAO0001-2 001800 03 PARAO0001-3 001900 03 PARAO0001-4 002000 03 PARAO0001-5 002100 01 PARAO0002.	3-----X-----4-----X-----5-----X-----6-----X-----
004700 LINKAGE SECTION. 006200 SEC-FIRST 006300 OPEN INPUT 006400 READ OUTPUT 006500 MOVE 貸借対照表ファイル 006600 MOVE 比率分析リスト. 006700 MOVE 流動資産 TO 流動負債. 006800 MOVE 流動負債 TO 流動負債. 006900 MOVE 固定資産 R TO 固定資産. 007000 MOVE 固定負債 R TO 固定負債. 007100 MOVE 資本 R TO 資本. 007200 CALL 'LISTPG1' USING 流動資産 流動負債 007300 007400 IF 流動比率ラダ = ' ON ' , 007500 THEN 007600 MOVE 流動比 TO 比率 007700 WRITE 比率分析レコード AFTER 2 007800 ELSE CONTINUE. 007900 CALL 'LISTPG3' USING 固定資産 固定負債 008000 比率分析テーブル. 008100 008200 008300 008400 008500	3-----X-----4-----X-----5-----X-----6-----X-----	006200 SEC-FIRST 006300 OPEN INPUT 006400 READ OUTPUT 006500 MOVE 貸借対照表ファイル 006600 MOVE 比率分析リスト. 006700 MOVE 流動資産 TO 流動負債. 006800 MOVE 流動負債 TO 流動負債. 006900 MOVE 固定資産 R TO 固定資産. 007000 MOVE 固定負債 R TO 固定負債. 007100 MOVE 資本 R TO 資本. 007200 CALL 'LISTPG2' USING 流動資産 流動負債 007300 007400 IF 流動比率ラダ = ' ON ' , 007500 THEN 007600 MOVE 流動比 TO 比率 007700 WRITE 比率分析レコード AFTER 2 007800 ELSE CONTINUE. 007900 CALL 'LISTPG3' USING 固定資産 固定負債 008000 比率分析テーブル. 008100 008200 008300 008400 008500	追加 

ソース比較リスト (新/旧ソース比較)				モジュール名		最新更新日	レベル	作成日	担当
変更前		PROG0002		1991.2.14		1		2018.11.27	
変更後		PROG0002		1991.2.14		3			

SEQ	変	更	前	変	更	後	区分
1	SECTION IDENTIFICATION	1	000300 PROGRAM-ID.	1	000300 PROGRAM-ID.	6	追加 削除
2	SECTION WORKING-STORAGE	1	001800 COPY COPY00001.	2	001800 COPY COPY00001.	6	追加 削除
3	SECTION LINKAGE	1	004700 LINKAGE	3	004700 LINKAGE	6	追加 削除
4	SECTION SEC-FIRST	1	006800 MOVE 流動負債 R TO 流動負債.	4	006800 MOVE 流動負債 R TO 流動負債.	6	追加 削除
5	007300 CALL ' LISTPG1' USING 流動資産 流動負債	1	007300 CALL ' LISTPG2' USING 流動資産 流動負債	5	007300 CALL ' LISTPG2' USING 流動資産 流動負債	6	追加 削除
6	007700 MOVE SPACE TO 比率分析レコード 007800 WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE	1	007700 MOVE SPACE TO 比率分析レコード 007800 WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE	6	007700 MOVE SPACE TO 比率分析レコード 007800 WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE	6	追加 削除
7	008800 MOVE SPACE TO 比率分析レコード 008900 WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE	1	008800 MOVE SPACE TO 比率分析レコード 008900 WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE	7	008800 MOVE SPACE TO 比率分析レコード 008900 WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE	6	追加 削除
8	010500 MOVE SPACE TO 比率分析レコード 010600 WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE	1	010500 MOVE SPACE TO 比率分析レコード 010600 WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE	8	010500 MOVE SPACE TO 比率分析レコード 010600 WRITE 比率分析レコード AFTER PAGE	6	追加 削除
9	SECTION SEC-CALL	1	012500 MOVE ' 1' TO PARA0001-1.	9	012500 MOVE ' 1' TO PARA0001-1-1.	6	追加 削除
10	012900 MOVE ' 1' TO PARA0005-1-1.	1	012900 MOVE ' 1' TO PARA0005-1-1.	10	012900 MOVE ' 1' TO PARA0005-1-1.	6	追加 削除
11	SECTION SEC-KEISAN	1	018600 MOVE ' OFF' TO 流動比率フラグ	11	018600 MOVE ' ON' TO 流動比率フラグ	6	追加 削除
12	018800 MOVE ' ON' TO 流動比率フラグ	1	018800 MOVE ' ON' TO 流動比率フラグ	12	018800 MOVE ' OFF' TO 流動比率フラグ	6	追加 削除
13	SECTION SEC-HIKAKU01	1	019500 根拠装置 +	13	019500 根拠装置 +	6	追加 削除
14	SECTION SEC-HIKAKU03	1	024600 根拠装置 +	14	024600 根拠装置 +	6	追加 削除
15	SECTION SEC-END	1	028200 END PROGRAM COBSOC01.	15	028200 END PROGRAM PROG00002.	6	追加 削除

xx	変更状況	xx
変更前	ステップ数 = 233	ステップ
追加	ステップ数 = 15	ステップ
更新	ステップ数 = 0	ステップ
削除	ステップ数 = 11	ステップ
変更後	ステップ数 = 237	ステップ



・ CSV形式ファイルの例

帳票名,作成日,担当 変更プログラム一覧,2018/11/27, No.,プログラム名(A/N),変更前ステップ数,追加ステップ数,更新ステップ数,削除ステップ数,変更後ステップ数,備考 1,PROG0002,233,15,0,11,237, ,合計,233,15,0,11,237,
--

### 13.2.1.8 診断メッセージ

ファイル出力指定において追加されたメッセージを説明する。

#### JSMVSF21-W

指定されたメンバ' mem1' の言語タイプがYPSのため、ソース比較リストファイルは出力しません。

[メッセージの意味]

指定されたメンバの言語タイプがYPSの場合、ソース比較リストのテキスト形式ファイルは出力できない。

[パラメタの意味]

mem1: テキスト形式ファイルが出力されないメンバ名(モジュール名)

[システムの処理]

mem1のソース比較リストのテキスト形式ファイルは出力されず、変更プログラム一覧のCSV形式ファイルおよび指定がある場合の修正文ファイルまたはUPDATE制御文ファイルは出力される。

[利用者の処置]

ソース比較リストが必要な場合はLINEオプションを指定し、再度実行する。

#### JSMVSP10-W

FILEオプションと' opt1' オプションを同時に指定しているため、ソース比較リストファイルは出力されません。

[メッセージの意味]

FILEオプションと' opt1' オプションを同時に指定した場合、ソース比較リストのテキスト形式ファイルは出力されない。

[パラメタの意味]

opt1: オプションで指定した言語タイプ

[システムの処理]

ソース比較リストのテキスト形式ファイルは出力されず、変更プログラム一覧のCSV形式ファイルおよび指定された場合の修正文ファイルは出力される。

[利用者の処置]

ソース比較リストが必要な場合はLINEオプションを指定し、再度実行する。

### 1 3 . 2 . 2 一連番号比較機能

新／旧ソース比較機能の比較精度を向上させるために追加されたSEQオプションの使用方法を説明する。

#### 1 3 . 2 . 2 . 1 機能概要

新／旧ソース比較機能の選択比較機能に一連番号比較機能を追加した。

当機能は、一連番号(以降SEQと呼ぶ)を含めた比較を行うことで、比較精度の向上が見込まれる。

ただし、比較仕様に変更はないため、リナンバーが行われた資産の比較は推奨しない。

#### 1 3 . 2 . 2 . 2 オプション説明

新／旧ソース比較機能のオプションに、SEQ無視／有効の指定オプションを追加した。

ただし、言語タイプ指定が“ANY”の場合、このオプションは指定できない。

・SEQ無視／有効の指定オプション

$$\left[ , \left\{ \begin{array}{l} \text{NOSEQ} \\ \text{SEQ} \end{array} \right\} \right]$$

当オプションを省略した場合は、“NOSEQ”が指定されたものみなす。

NOSEQ：ソース比較を行う場合に、SEQは含めない。

SEQ：ソース比較を行う場合に、言語タイプ指定オプションに合わせてSEQを含める。

#### 1 3 . 2 . 2 . 3 オプション指定方法

SEQ無視／有効の指定オプションを指定する場合を説明する。

[OSIV/MSPの場合]

```
// EXEC PGM=JSMVS000, REGION=2048K, PARM='CHECK (SEQ)'
```

[OSIV/XSPの場合]

```
¥ EX JSMVS000, RSIZE=2048  
¥ PARA CHECK (SEQ)
```

### 1 3 . 2 . 2 . 4 ソース比較リストの出力

SEQ無視／有効の指定による、比較結果の違いを説明する。

#### ー 比較対象のソース

旧ソース	新ソース (001610～001660行を追加)
001400 01 WK-AREA.	001400 01 WK-AREA.
001500 03 FILLER PIC X(12)	001500 03 FILLER PIC X(12)
001600 VALUE 'AAAAAAAAAAAA'.	001600 VALUE 'AAAAAAAAAAAA'.
001700 03 FILLER PIC X(12)	001610** ADD START **
001800 VALUE 'DDAAAAAAAAAAAA'.	001620 03 FILLER PIC X(12)
001900 03 FILLER PIC X(12)	001630 VALUE 'BBAAAAAAAAAAAA'.
002000 VALUE 'EEAAAAAAAAAAAA'.	001640 03 FILLER PIC X(12)
:	001650 VALUE 'CCAAAAAAAAAAAA'.
	001660** ADD END **
	001700 03 FILLER PIC X(12)
	001800 VALUE 'DDAAAAAAAAAAAA'.
	001900 03 FILLER PIC X(12)
	002000 VALUE 'EEAAAAAAAAAAAA'.
	:

#### ー SEQ無視の指定の場合

従来のSEQを含まない比較で上記比較対象のソースを比較した場合、旧:001700行と新:001620行および旧:001900行と新:001640行が、それぞれ同一行と見なされ、変更していない旧:001800行が削除行となり、新:001800行は追加行となる。

[ 変更前 ]	[ 変更後 ]	[ 区分 ]
001400 01 WK-AREA.	001400 01 WK-AREA.	
001500 03 FILLER PIC X(12)	001500 03 FILLER PIC X(12)	
001600 VALUE 'AAAAAAAAAAAA'.	001600 VALUE 'AAAAAAAAAAAA'.	
001700 03 FILLER PIC X(12)	001620 03 FILLER PIC X(12)	
	001630 VALUE 'BBAAAAAAAAAAAA'.	追加
001800 VALUE 'DDAAAAAAAAAAAA'.		削除
001900 03 FILLER PIC X(12)	001640 03 FILLER PIC X(12)	
	001650 VALUE 'CCAAAAAAAAAAAA'.	追加
	001700 03 FILLER PIC X(12)	追加
	001800 VALUE 'DDAAAAAAAAAAAA'.	追加
	001900 03 FILLER PIC X(12)	追加
002000 VALUE 'EEAAAAAAAAAAAA'.	002000 VALUE 'EEAAAAAAAAAAAA'.	
** 変更状況 **		
変更前	ステップ数	=
追加	ステップ数	= 32
更新	ステップ数	= 5
削除	ステップ数	= 0
変更後	ステップ数	= 1
	ステップ数	= 36

#### ー SEQ有効の指定の場合

SEQを含めた比較で上記比較対象のソースを比較した場合、削除行とみなされる行はなく、追加した新:0016200～0016500行が追加行となる。

[ 変更前 ]	[ 変更後 ]	[ 区分 ]
001400 01 WK-AREA.	001400 01 WK-AREA.	
001500 03 FILLER PIC X(12)	001500 03 FILLER PIC X(12)	
001600 VALUE 'AAAAAAAAAAAA'.	001600 VALUE 'AAAAAAAAAAAA'.	
	001620 03 FILLER PIC X(12)	追加
	001630 VALUE 'BBAAAAAAAAAAAA'.	追加
	001640 03 FILLER PIC X(12)	追加
	001650 VALUE 'CCAAAAAAAAAAAA'.	追加
001700 03 FILLER PIC X(12)	001700 03 FILLER PIC X(12)	
001800 VALUE 'DDAAAAAAAAAAAA'.	001800 VALUE 'DDAAAAAAAAAAAA'.	
001900 03 FILLER PIC X(12)	001900 03 FILLER PIC X(12)	
** 変更状況 **		
変更前	ステップ数	=
追加	ステップ数	= 32
更新	ステップ数	= 4
削除	ステップ数	= 0
変更後	ステップ数	= 0
	ステップ数	= 36

### 1 3 . 2 . 3 新／旧ソースの比較ステップ数の制限緩和

新／旧ソース比較機能において、新／旧ソースの比較ステップ数の制限を1セッション1000ステップから3000ステップまでに緩和した。

#### 1 3 . 2 . 3 . 1 制限事項

- ・新／旧ソース比較機能において、対象言語にCOBOLまたはYPS/COBOLを指定したとき、1セッションのステップ数が3000ステップを超えたときはそのメンバの処理を中断する。
- ・新／旧ソース比較機能において、対象言語にCOBOLまたはYPS/COBOLを指定したとき、新側あるいは旧側にのみ存在するセッションが連続して11個以上、またはその総ステップ数が3000ステップ以上であったとき、そのメンバの処理を中断する。

#### 1 3 . 2 . 3 . 2 診断メッセージ

制限抵触時に出力される診断メッセージは、既存の以下のメッセージが出力される。

JSMVSG13-E または JSMVSG15-E

ソース解析中に処理可能なステップ数を超えました。旧側メンバ名' mem1'，新側メンバ名' mem2' の処理を中断します。

[メッセージの意味]

指定されたメンバにおいて1セッションのステップ数、または連続した不一致の段階的詳細化の総ステップ数が制限値(注)を超えた。

注) 制限値は下記モジュールが実行ロードモジュールライブラリに存在することで確認できる。

制限値が1000ステップの場合、“JSMWD1KS”。

制限値が3000ステップの場合、“JSMWD3KS”。

#### 1 3 . 2 . 3 . 3 実行リージョン

新／旧ソース比較機能で3000ステップ制限版を使用する場合は、3072KB以上をリージョンサイズに指定する。

#### 14. プログラム修正事項

前回提供のソフトウェアに対して以下のプログラム修正が行われている。

ただし、機能追加または強化に伴う修正内容を除く。（◆参照 → 4）

表14.1 プログラム修正事項

項番	プログラム修正内容	修正プログラム名
1	<p>プロフィール通知(JSMWPRF1)を呼び出すプログラムをバッチで実行すると、正常終了しているにもかかわらず完了コードが異常な値になる。 (対処) プロフィール通知(JSMWPRF1)を呼び出すプログラムをバッチで実行して正常終了したときの完了コードは、MSPの場合はゼロ、XSPの場合は“10”になるように修正した。</p>	JSMWPRF1
2	<p>新/旧ソース比較機能および変更履歴情報比較機能において、YPSソースのモジュール概要記述行を出力した場合、正しい表記で出力されない。 (対処) モジュール概要記述行が“@SPECIFICATIONS@英語”および“@SPECIFICATIONS@日本語”で表記されるように修正した。</p>	JSMVS935 JSMVS940 JSMVS941
3	<p>新/旧ソース比較機能において、以下の条件でAP/DFのディレクトリ日付がないメンバを選択した場合、更新日付欄が空白にならない。 ・実行時オプション（下記条件を全て満たす）   －言語タイプの指定:YPSV10,YPSV11,またはANY   －帳票出力形式の指定:ALL,PART,またはSECALL   －プログラム開発支援システムの指定:APDF ・入力ソースライブラリ編成:区分編成 (対処) AP/DFのディレクトリ日付がないメンバの更新日付欄は、空白で出力されるように修正した。</p>	JSMVSG46 JSMVSG50 JSMVSG51 JSMVSG71
4	<p>新/旧ソース比較機能において、以下の条件で処理対象メンバを日付選択で指定した場合、対象メンバが選択できない。 ・実行時オプション（下記条件をすべて満たす）   －言語タイプの指定:ANY   －プログラム開発支援システムの指定:APDF ・SYSIN制御文   -DOPT(日付選択)補助制御文   -COMPOUND(複合条件)補助制御文指定 ・入力ソースライブラリ編成:区分編成 (対処) AP/DFのメンバを日付選択で指定した場合、対象メンバを選択できるように修正した。</p>	JSMVSG71
5	<p>新/旧ソース比較機能において、以下の条件で複数メンバを比較対象とした場合、U0330で異常終了する場合がある。出力メッセージ:JMP0330I-U STATEMENT SEQUENCE ERROR. STM=OPEN. FILE=JSMVSLST. 'DUPL-OPEN'. ・実行時オプション（下記条件を全て満たす）   －言語タイプの指定:YPSV10またはYPSV11   －帳票出力形式の指定:ALLまたはSECALL ・SYSIN制御文（下記条件を全て満たす）   －1つ目の処理対象メンバ:制限抵触メッセージ(JSMVSG15-E ソース解析中に処理可能なステップ数を超えました. 旧側メンバ名'@1', 新側メンバ名'@2'の処理を中断します.)が出力されるメンバ   －2つ目の処理対象メンバ:制限抵触をしていない不一致があるメンバ (対処) 複数メンバを比較対象とした場合、異常終了しないように修正した。</p>	JSMVS935





FUJITSU